



2013 年 1 月 22 日

株式会社アイ・アール ジャパン

IR・SR コンサルティング事業部

「持続的な企業価値の創造のための IR/コミュニケーション戦略に関する実態調査」

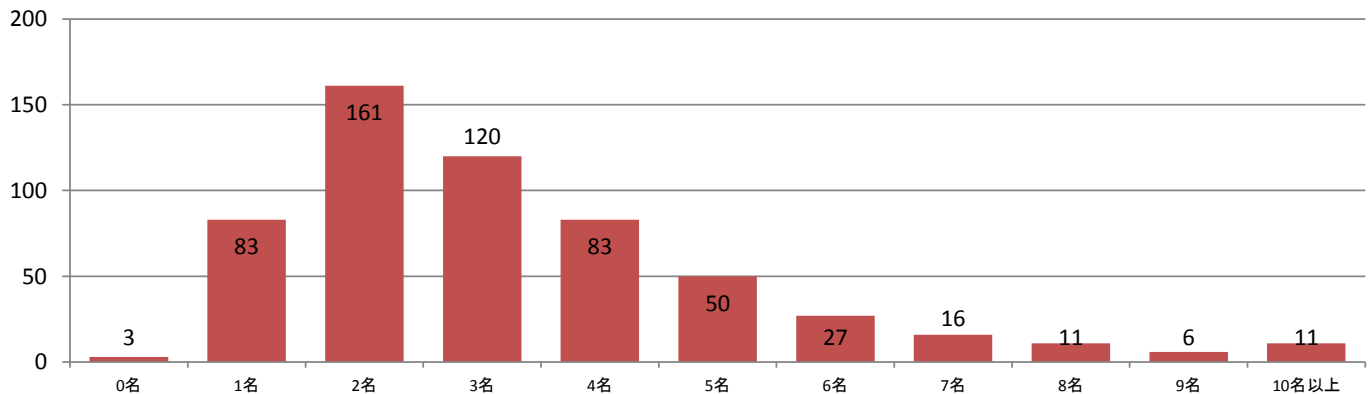
集計結果

- アンケート発送対象社数： 3,544 社
- アンケート回答企業数： 583 社（記名：574 社、匿名：9 社）

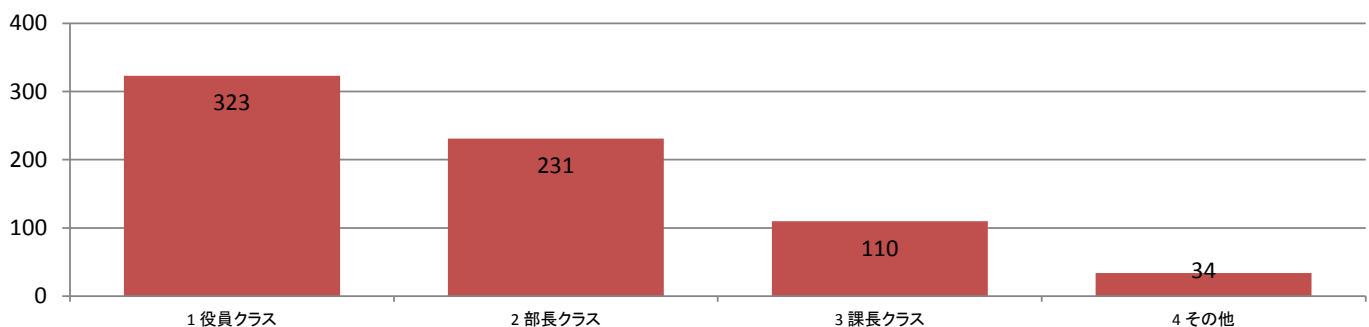
F 1. 御社の IR 体制についてお聞きます。2012 年 12 月現在における御社の IR 体制について、該当するものに○印をご記入ください。

IR専任部署の有無	1.あり	298	0.なし	281
IR担当部門の管轄状況	1.経営トップ直轄	135	0.トップ直轄ではない	439
IR担当部門の取締役会への参加状況	1.参加	298	0.不参加	280
IR担当部門の経営計画作成への関与の有無	1.あり	425	0.なし	152

IR 担当社員の人数（兼務含む）



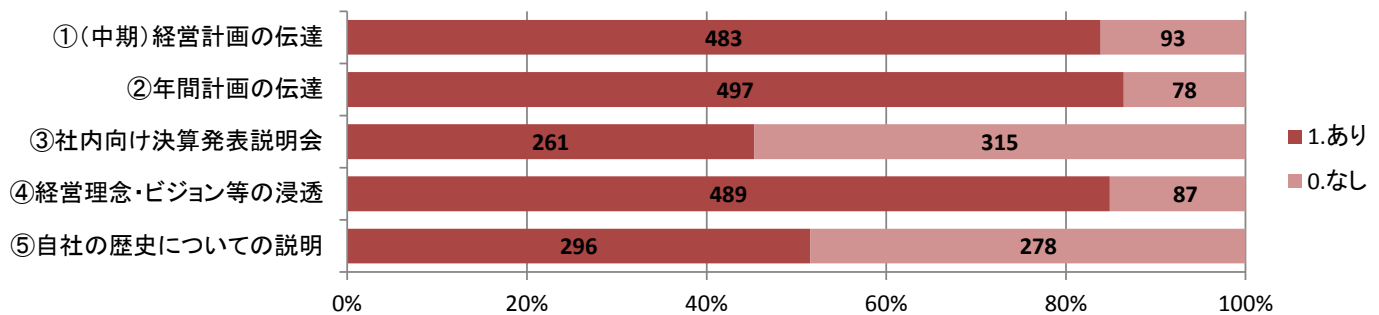
F 2. 御社の IR 担当者の最高職位として、該当するものすべてに○印をご記入ください。



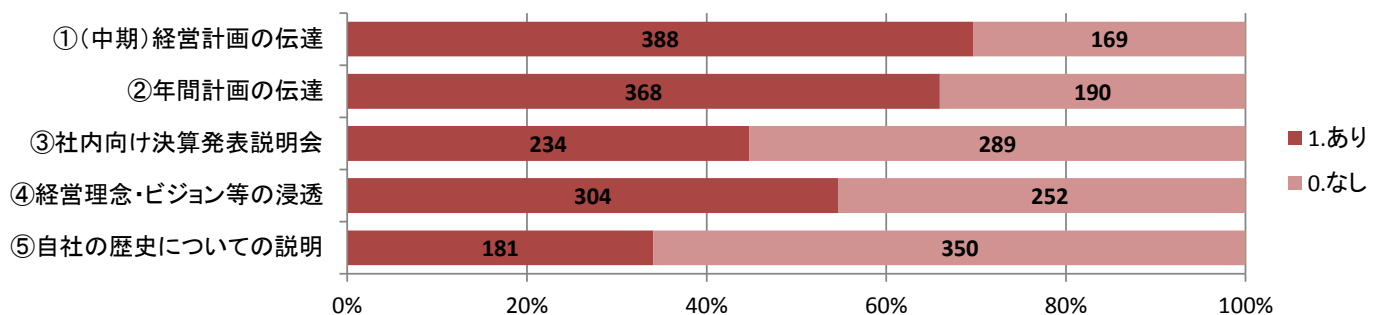


F 3. 御社の社内向け広報の実施状況およびIR担当部門の関与の有無についてお知らせください。

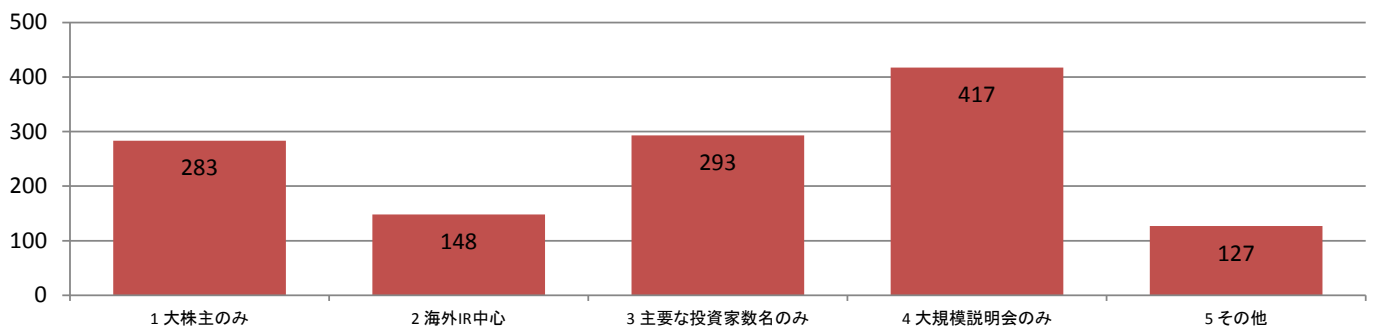
<実施の有無>



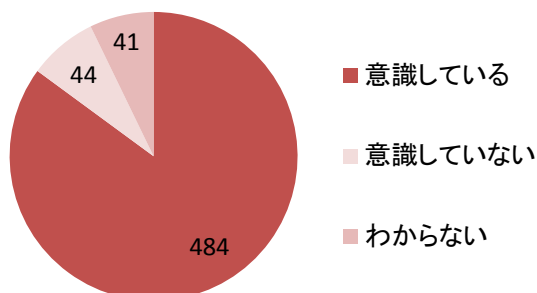
<IR担当部門の関与の有無>



F 4. 御社における経営者によるIR活動として実践されているものすべてに○印をご記入ください。



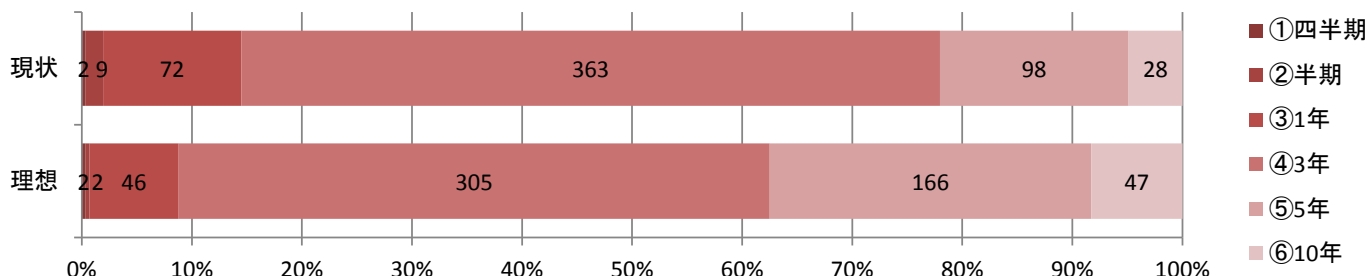
F 5. 御社では、長期的な企業価値の創造のために、IR担当部門と経営企画担当部門との間での連携を意識していますか。該当するもの1つに○印をご記入ください。



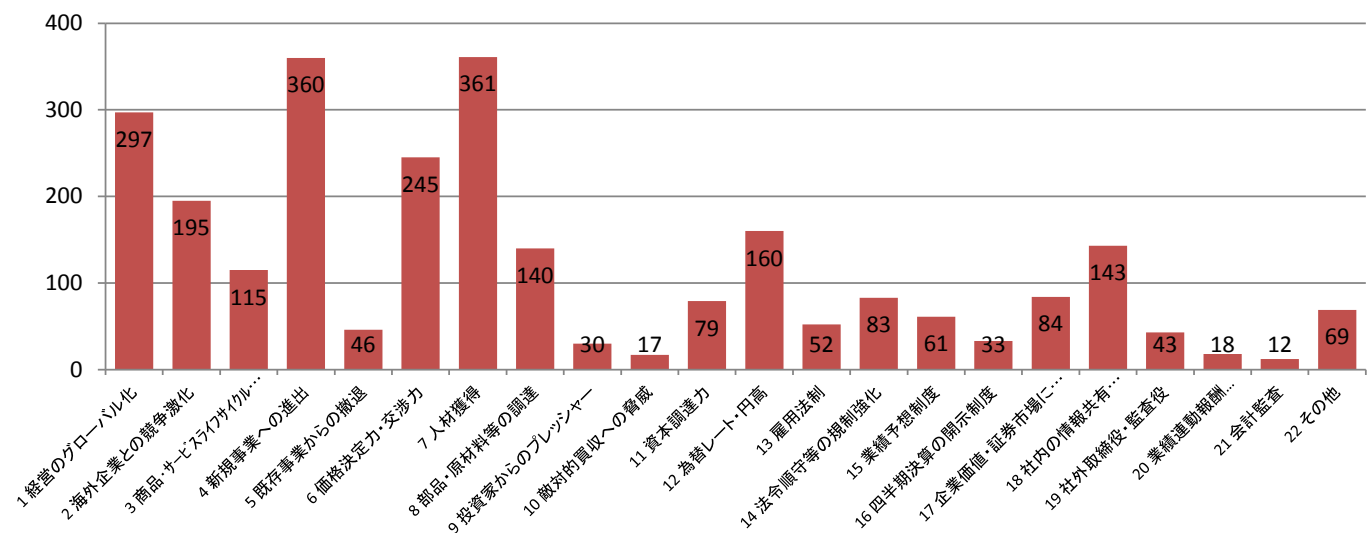


問1 御社における企業価値に対する認識についてご回答ください。

(1) 御社では、現在、企業価値や業績向上の目標の達成のための期間をどのくらいで設定していますか。また、理想として、それらの活動にどのくらいの期間を設けるのが適切であると考えていますか。下記の中でもっとも御社に近い状況にあると考えられる項目1つに○印をご記入ください。



(2) 御社では、持続的な企業価値の創造の実現を目指すにあたって、課題となっている要素は何ですか。該当するものすべてに○印をご記入ください。

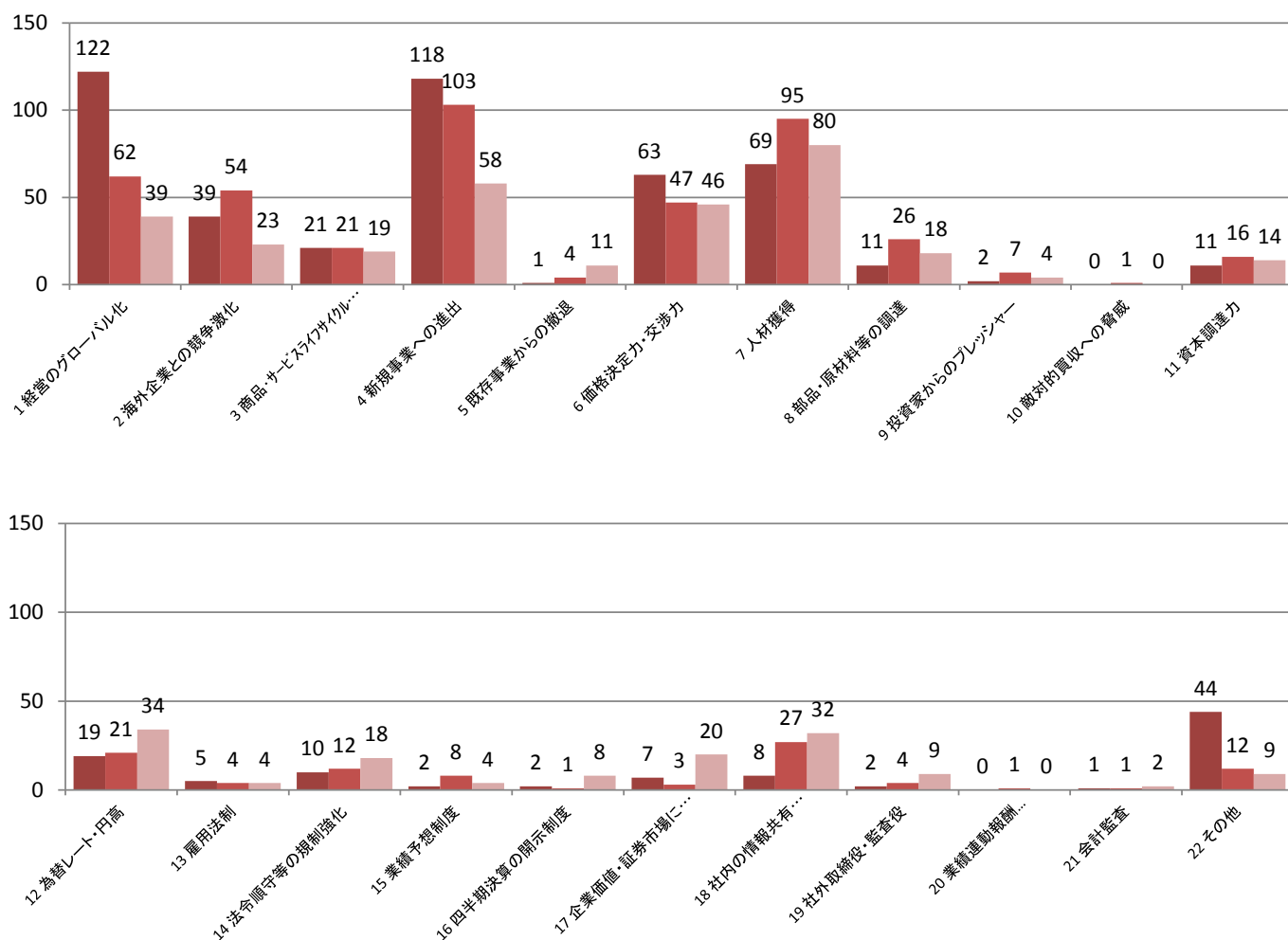


その他（全回答数：69件）

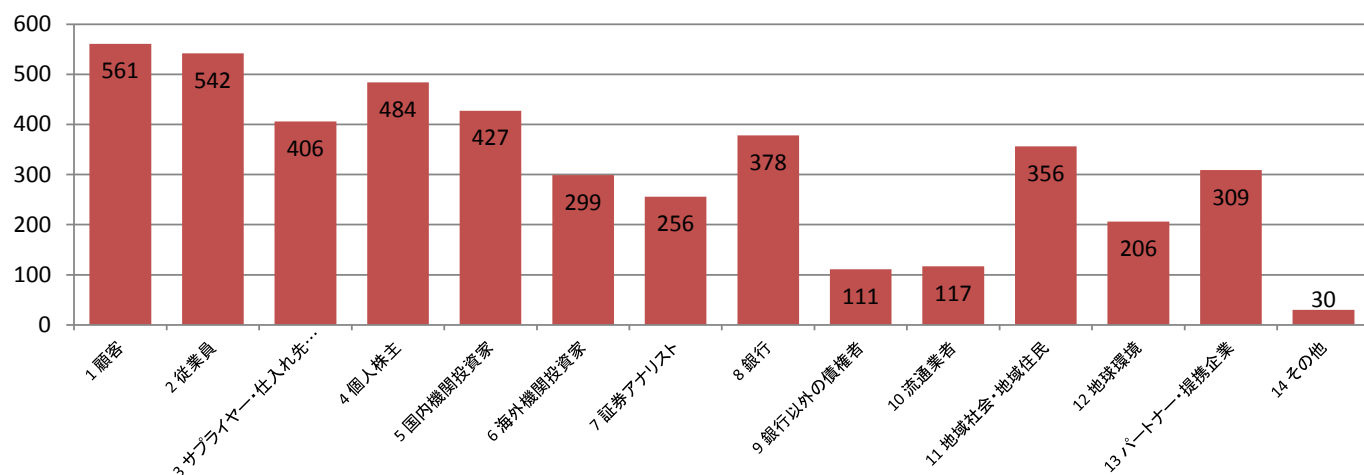
- 人材育成、等（8件）
- 法規制の整備、税制、取り扱い製品に対する規制および今後の動向、政策当局の無策、等（8件）
- 国内企業との競争激化、同業他社との加熱競争、海外企業による無謀な価格設定、等（7件）
- 中核事業における継続的な市場縮小、製品価格のデフレ化、既存事業の環境の変化、等（7件）
- 日本国内株式市況の低滞、資本市場関係者の短期視点（志向）、証券市場における認知度、等（4件）
- 日本の少子高齢化への対応、消費者の購買活動の多様化、日本の景気（3件）



上記の中で特に御社で課題となっていると考えるものから順に3つ以内で項目番号をご記入ください。



(3) 御社において特に重視するステークホルダーすべてに○印をご記入ください。

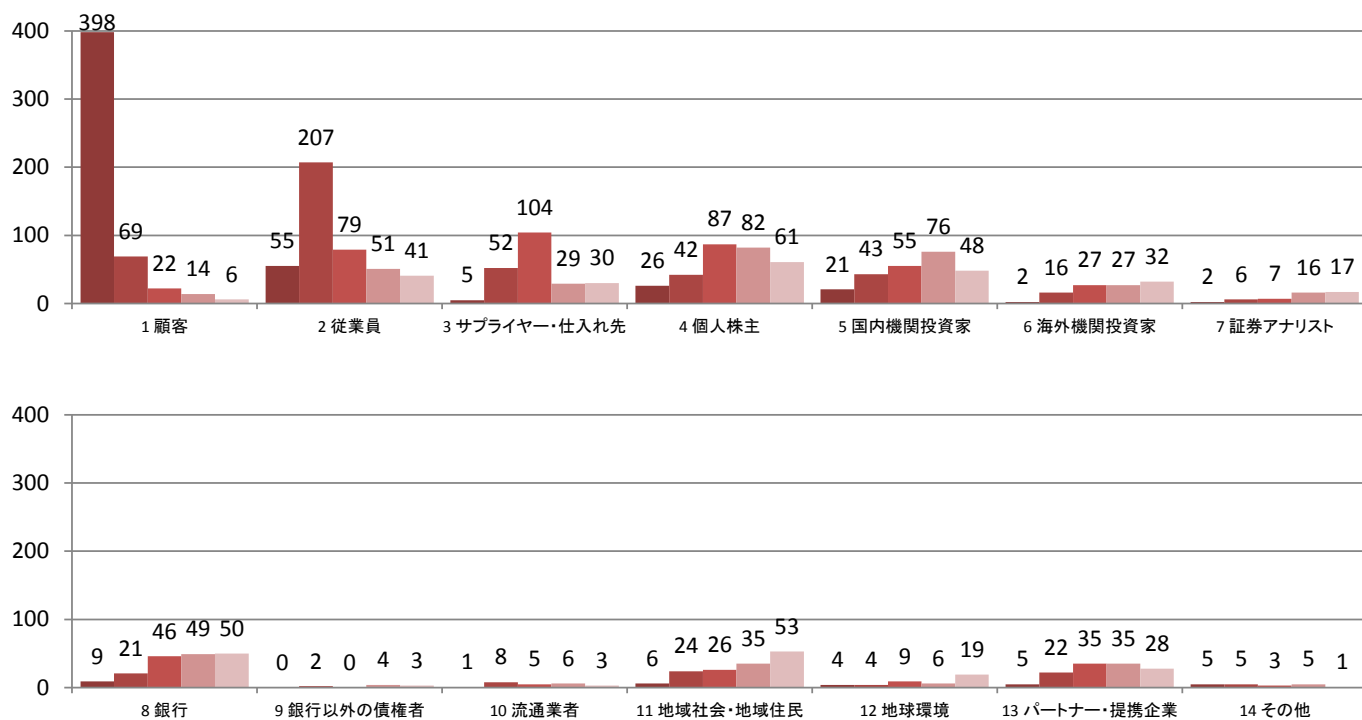


その他（全回答数：27 件）

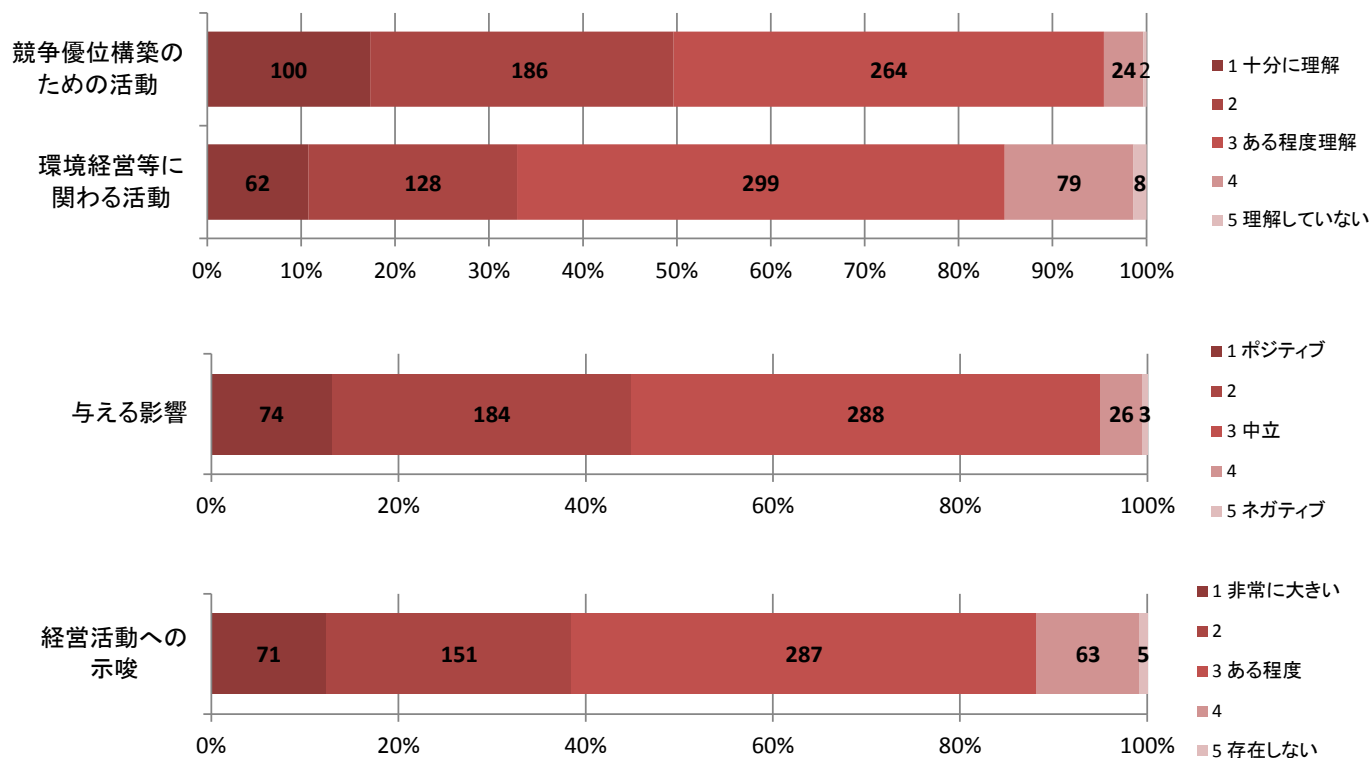
- 全ての株主（8 件）、大株主（4 件）
- 親会社、関係会社、等（4 件）
- 選択肢全て（2 件）



上記の中で特に御社で重視しているステークホルダーから順に5つ以内で項目番号をご記入ください。



(4) 日頃、御社が最も多く接している投資家について、御社の経営陣の認識に該当するものに1つに○印をご記入ください。

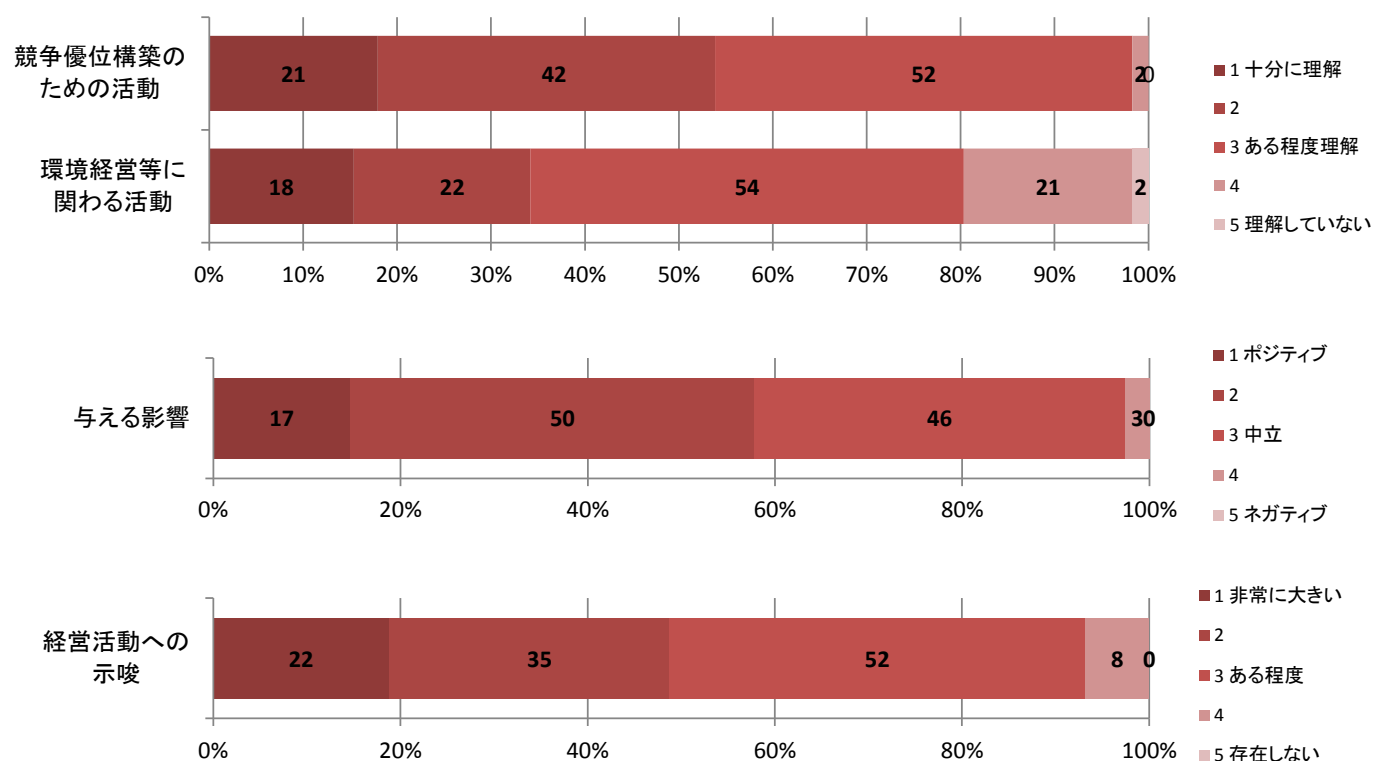




(5) 御社が持続的な企業価値創造を目指す上で、投資家とのコミュニケーションにおいて特に課題と感じている点は何ですか。何でも結構ですので自由にご回答ください。(全回答数：314 件)

【事業内容への理解促進、理解不足、時間軸の違い】(117 件)

- 事業内容が複雑にまたがっている為、内容を理解しづらい点だと思います
 < (4) の回答内容 競争優位：3 環境経営：3 与える影響：3 経営活動：3 >
- 自社の描く成長戦略が、必ずしも理解されない
 < (4) の回答内容 競争優位：3 環境経営：3 与える影響：2 経営活動：2 >
- 短期的な業績数値に関心が偏り過ぎであり、四半期開示の弊害が最近とくに顕著になっている
 < (4) の回答内容 競争優位：2 環境経営：4 与える影響：3 経営活動：3 >
- 短期的なキャピタル・ゲインへの期待と、長期的な企業の継続性に対する評価の乖離
 < (4) の回答内容 競争優位：4 環境経営：2 与える影響：3 経営活動：3 >



【情報開示体制、コミュニケーション機会の不足】(41 件)

- 経営陣と投資家のコミュニケーションの頻度の低さ
- 海外機関投資家へのアプローチ不足
- 情報開示レベルの向上と、競合他社への情報流出リスクの兼ね合い
- 会社において統一した考えが確定していない点が多く、スムーズにコミュニケーションが取れない事

【認知度の低さ、上場市場の問題】(16 件)

- 企業規模（時価総額）が小さい為、機関投資家の関心が少ない
- 機関投資家が参入できるだけの浮動株式数、出来高の確立
- どの投資家も弊社の主業務内容を当社は全くご存じなく、まず社業から丁寧に説明しなければならない点
- 業種上、カバーされているアナリストが少ない



(6) 御社において、特に社長面談などを積極的に促したいと考える機関投資家について回答ください。

(a) そうした投資家はどのような特徴や属性を持っていると感じますか。そうした投資家が存在する場合、自由回答にてご回答ください。(全回答数：255 件)

(b) そうした面談を促すことで、自社にどのような影響や効果があると考えていますか。想定される影響や効果について自由回答にてご回答ください。(全回答数：228 件)

【長期的視点、保有を行う投資家】(118 件)

➤ 長期的な視点での評価が出来る投資家

＜ (4) の回答内容 競争優位：1 環境経営：1 与える影響：1 経営活動：1 ＞

(b) ⇒ 市場における適正な評価に資すると考える

➤ 国内外の年金基金等。比較的長期に株を保有する可能性

＜ (4) の回答内容 競争優位：3 環境経営：3 与える影響：2 経営活動：2 ＞

(b) ⇒ 当社への理解を深めていただくことで長期保有を促す

➤ 当社の経営内容をよく理解し、有用な意見を提供してくれる長期保有の大株主

＜ (4) の回答内容 競争優位：2 環境経営：2 与える影響：2 経営活動：2 ＞

(b) ⇒ 社長が市場での当社の評価や客観的に有用な情報を直接認識することができ、経営判断の助けになると考えています

➤ 経営理念や長期ビジョンをトップマネジメントから直接聞く事を求め、比較的中長期保有を方針としている

＜ (4) の回答内容 競争優位：2 環境経営：3 与える影響：1 経営活動：1 ＞

⇒ 有用な意見・要望等を経営にフィードバック・反映させられる事

【事業に理解がある投資家】(21 件)

➤ 資本市場ならびに当社が属する業界特性について理解している

＜ (4) の回答内容 競争優位：2 環境経営：3 与える影響：2 経営活動：1 ＞

(b) ⇒ 当社株式の購入や長期保有による株価の維持・向上

➤ 当社事業への理解があり、当社の企業価値向上に向け、有意義なディスカッションができる

＜ (4) の回答内容 競争優位：1 環境経営：3 与える影響：1 経営活動：1 ＞

(b) ⇒ より密な双方向のコミュニケーションを図ることができ、相互の認識が深まる

➤ 海外機関投資家。ビジネスモデルへの深い理解とすばやい判断

＜ (4) の回答内容 競争優位：3 環境経営：5 与える影響：1 経営活動：3 ＞

(b) ⇒ 当社の時価総額の上昇

【中小規模の投資家、中小型株専門の投資家】(6 件)

➤ 中小型株を対象としている先

＜ (4) の回答内容 競争優位：4 環境経営：4 与える影響：3 経営活動：3 ＞

(b) ⇒ 適切な株価形成

➤ 当社株式の時価総額が小さいため、中小型株を中心に運用する投資家がメインです

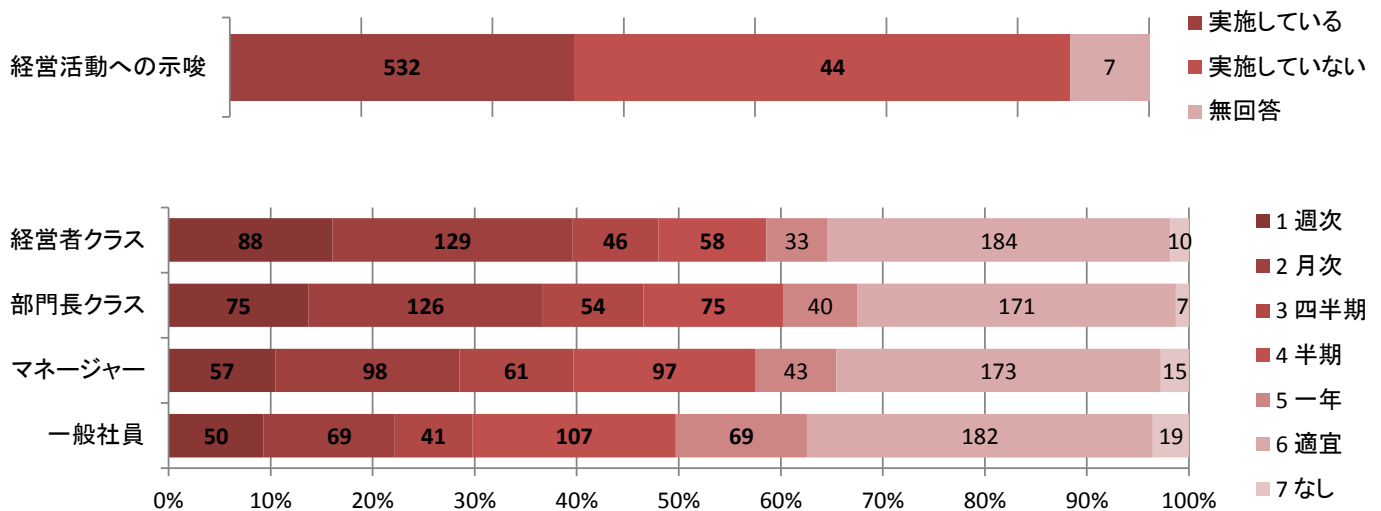
＜ (4) の回答内容 競争優位：3 環境経営：4 与える影響：3 経営活動：3 ＞

(b) ⇒ 株主名簿に名前が出てきており、安定株主作りにはなっていると思われます

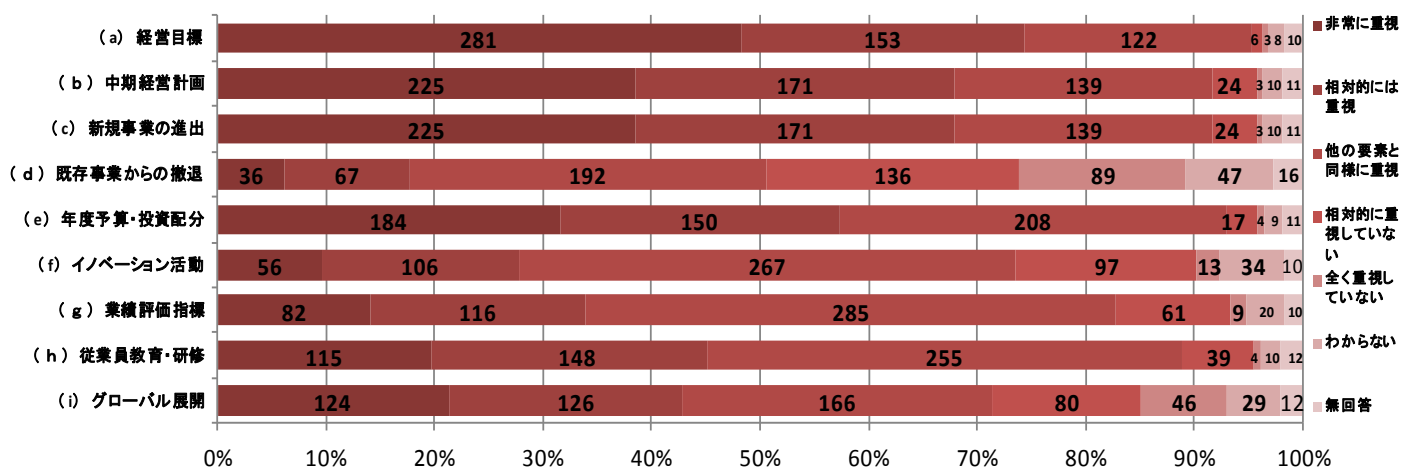


問2 御社における経営理念等や企業文化に対する認識についてご回答ください。

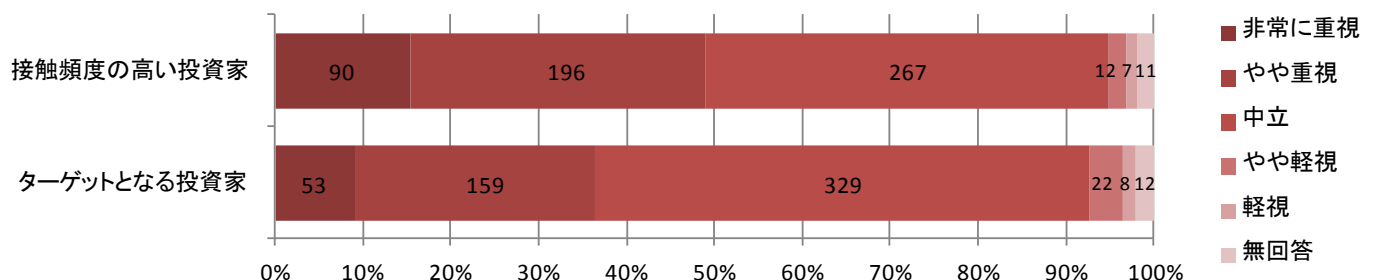
(1) (a) 自社の経営理念や共通の価値観について、浸透させる取り組みを実施していますか。(b) その取り組みを実践している場合、それは下記のそれぞれの対象に対して、どれくらいの頻度で実施されていますか。



(2) 御社では、経営理念や共通の価値観がどのような役割を果たしていますか。下記の中で、それぞれ該当するもの1つに○印をご記入ください。



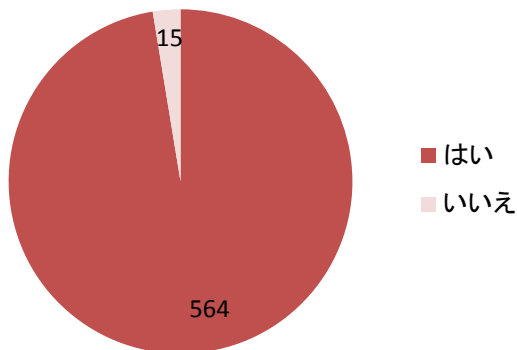
(3) 投資家は御社の経営理念や共通の価値観をどれほど重視していますか。①接触頻度の高い投資家、②御社のターゲットとなる投資家それぞれについての理解度として最も近いものに○印をご記入ください。



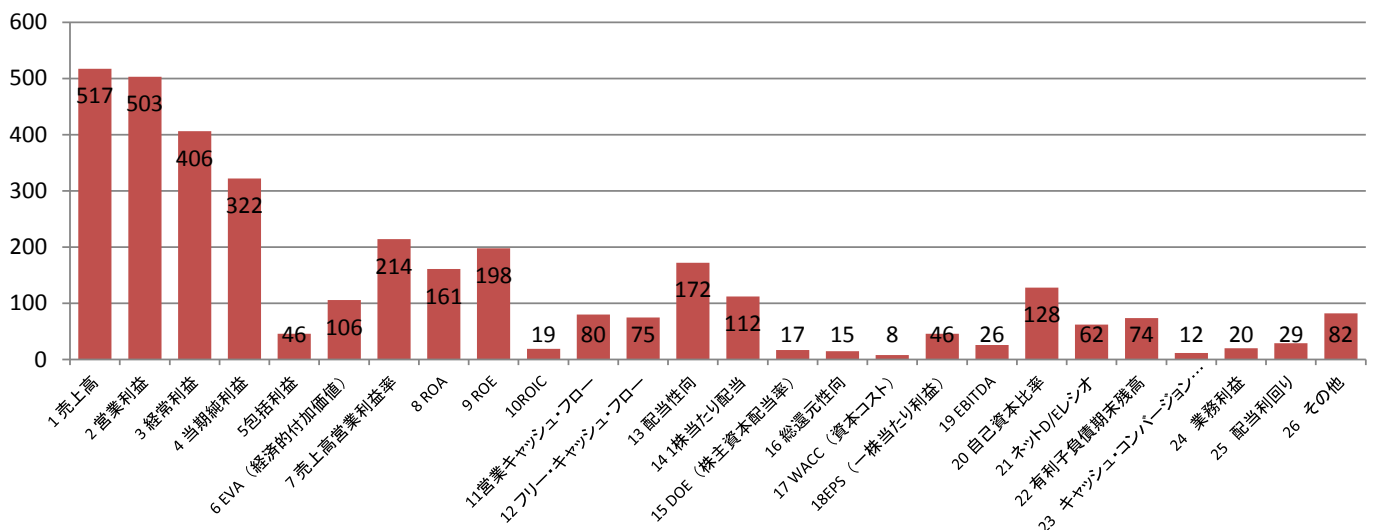


問3 御社における経営目標や中期経営計画についてご回答ください。

(1) 御社では、経営目標を掲げていますか。掲げている場合には、どのような経営目標を掲げていますか。ご回答ください。



→「1」とご回答いただいた場合は、どのような経営目標を掲げているか、該当するものすべてに〇印をご記入ください。

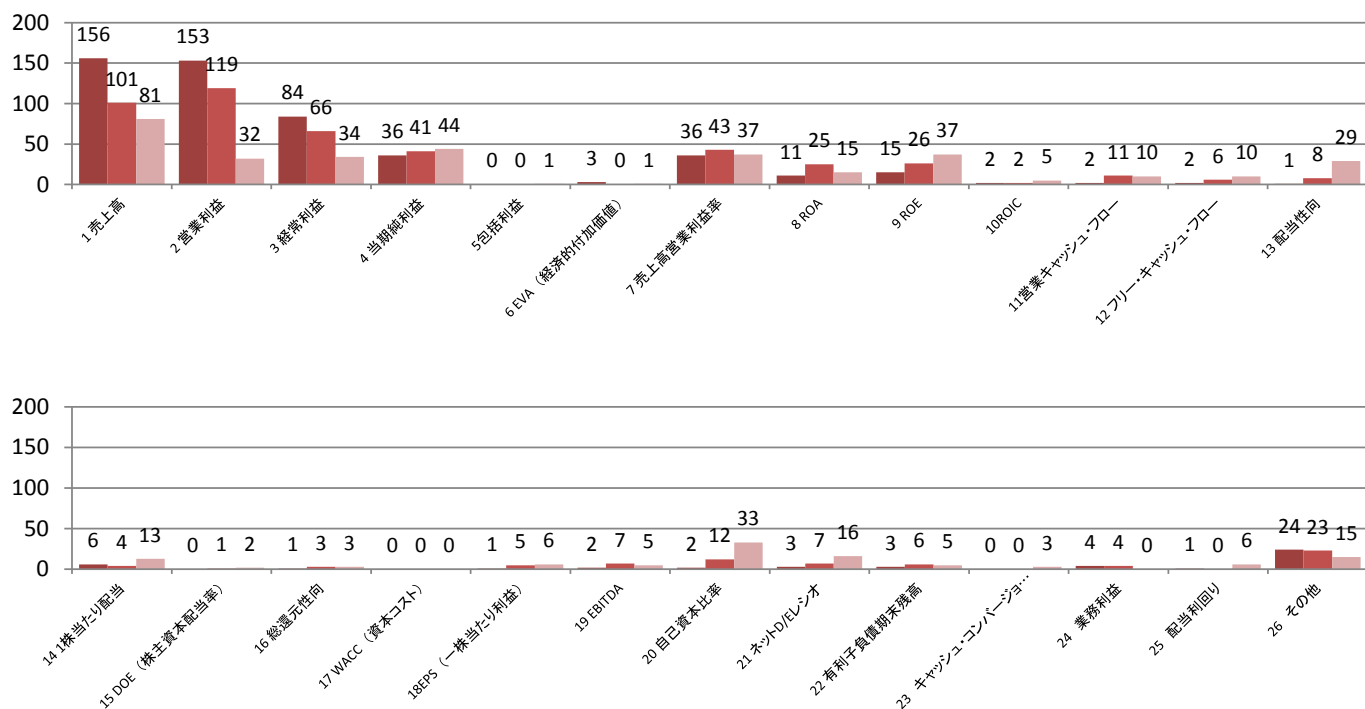


その他（全回答数：82 件）

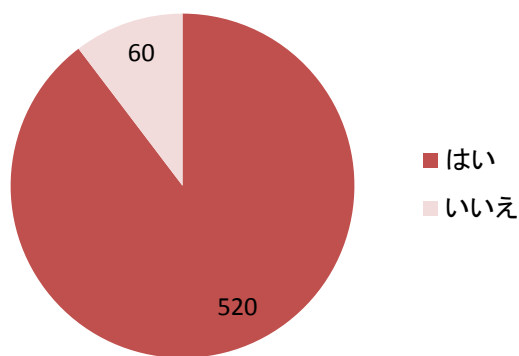
- 売上高経常利益率（8 件）、売上高総利益率（4 件）
- 海外売上高比率（7 件）
- 受注高（5 件）
- お客様数、会員数、市場シェア、出店数、等（5 件）
- 研究開発費、投資計画、中期ビジョン、等（4 件）
- 有利子負債/EBITDA 倍率（3 件）
- ブランド価値の向上、事業を通じた地域の成長と社会への貢献、地域一番店の実現（3 件）



→上記で取り上げた業績目標の中で特に御社で重視している指標は何ですか。重視する順に上位3項目の番号をご記入ください。



(2) 御社では、中期経営計画、長期経営計画など3年以上にわたる経営計画を策定していますか。



→「2.いいえ」とご回答いただいた方におたずねします。経営計画を策定しない理由は何でしょうか。(全回答数：45件)

【事業環境変化の予測が困難】(32件)

- 今後の事業環境の見通しが不透明な中では、中長期の経営計画を策定し難い為です
- 外部環境が不透明で、毎年の営業利益をコミットするのが困難。市場が数字を織りこんでしまう

【社内体制の不備】(2件)

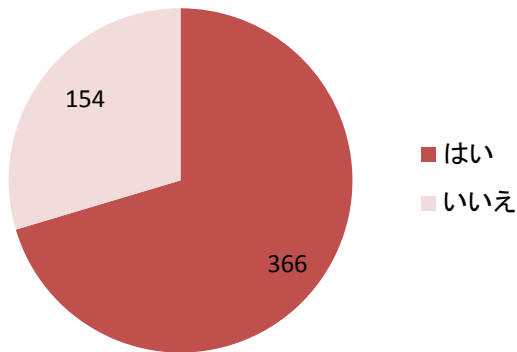
- 社内的に体制が整っていない
- 社内の管理部にそれだけの力がない

【その他】

- コミットと捉えられるため、未達のインパクトが大きい。また、数字の為の経営につながるリスクがある
- 中期経営計画以上のスピードで成長している為、計画自体の存在が成長を抑制しかねない為



(3)(2)で「1.はい」とご回答いただいた方におたずねします。御社では、経営計画を開示ないしは公表していますか。



→「2.いいえ」とご回答いただいた方におたずねします。経営計画を公表しない理由は何でしょうか。(全回答数：126 件)

【事業環境変化の予測が困難】(52 件)

- 環境の変化が激しい為、途中で変更がある場合が多く、開示すると混乱をまねく場合があるため
- 業界の変化が激しく、また M&A も多いことから、公表する上で逆に市場をミスリードする可能性がある
- 経営環境の変化が速い為

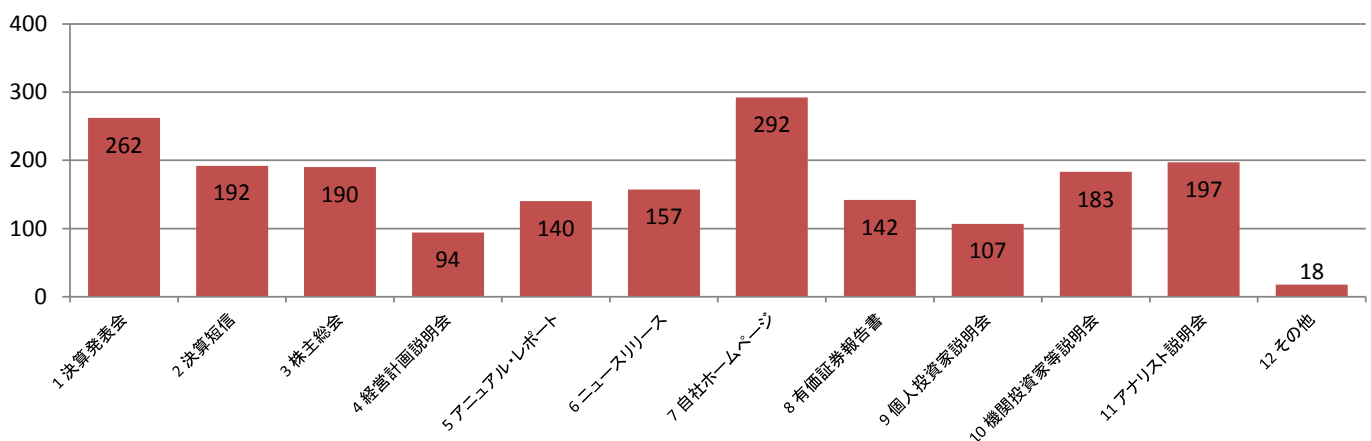
【必要性が無い、開示が義務付けられていない、社内用である】(20 件)

- 法律や行政指導により開示すべき内容に関しては公表するが、詳細に関してはあえて公表しなくても良いとする体質がある
- 対外的な業績見通し公表とは別物と考えるため
- 公表する意識があるものの開示できる内容のものを作成していない為

【投資家へのコミットメントになってしまう懸念】(12 件)

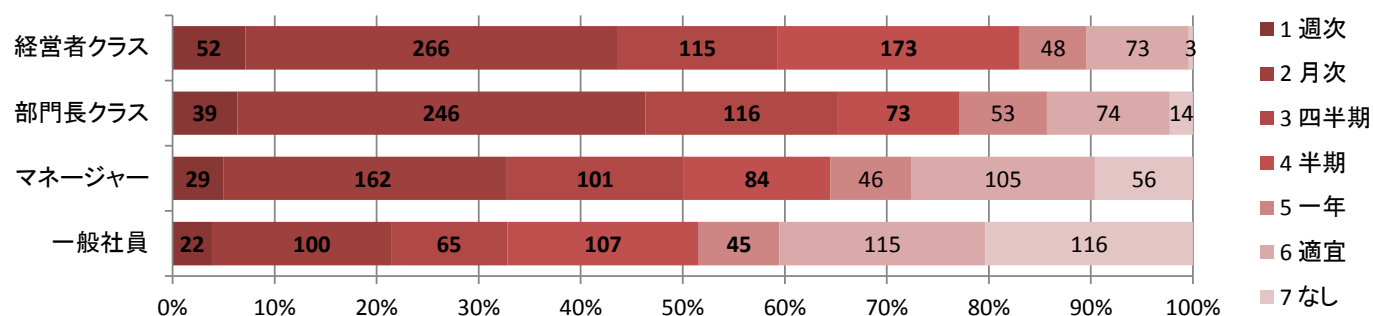
- 対外開示は必ず達成されるべきコミットメントであるとの理解が働くため
- 変化の多い業界のため、中長期的判断が投資家に正しく伝わらない

→「1.はい」とご回答いただいた方におたずねします。経営計画はどのようなかたちで公表していますか。下記の中から該当するものをすべてに○印をご記入ください。

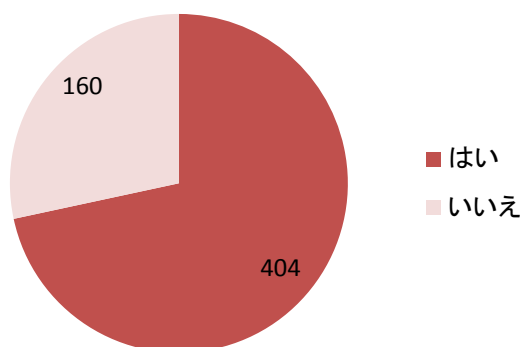




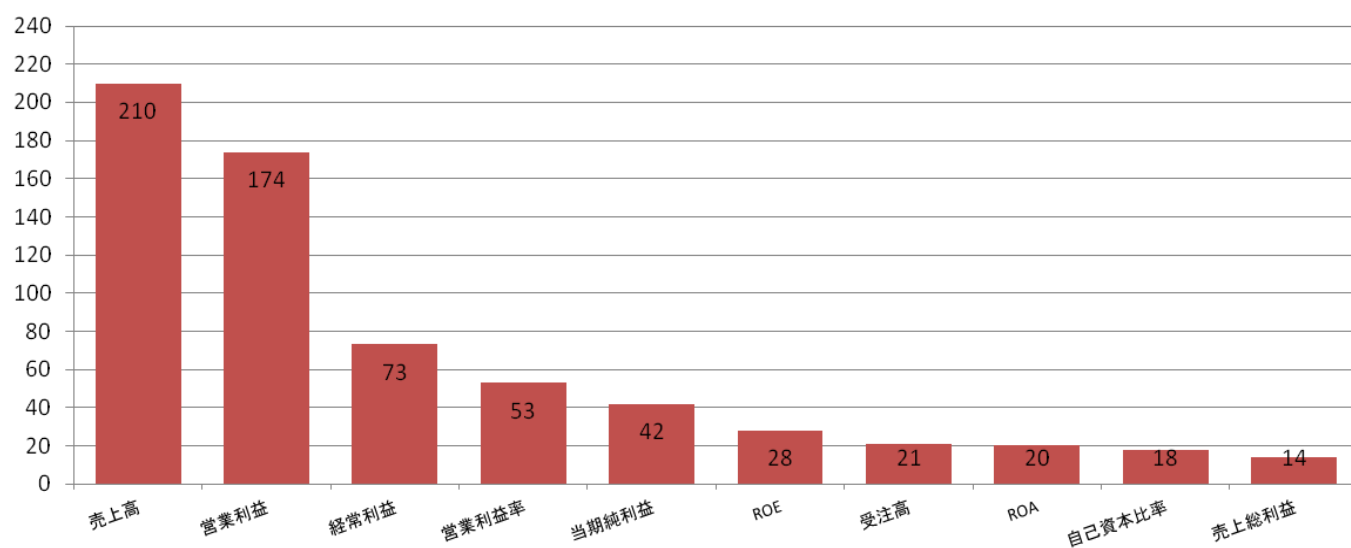
(4) 御社では経営計画の進捗の確認・見直しのためのミーティング等をどのような期間で実施されますか。下記の中から該当するものをすべてに○印をご記入ください。



(5) (a) 御社では経営計画の進捗の確認のために定点観測するための業績評価指標を測定していますか。

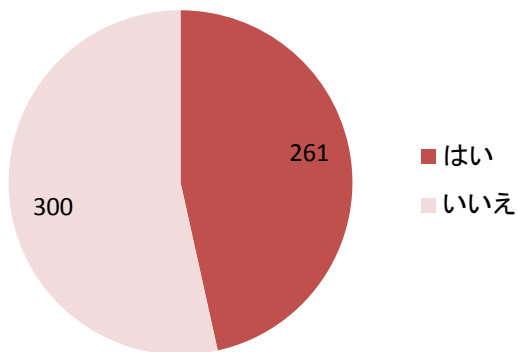


(b) 測定している場合、特に重視されている指標（取締役会や役員会で積極的に議論される指標など）を5つ以内でご記入ください。（全回答数：1,216 件）※ 回答数 10 件以上で抽出

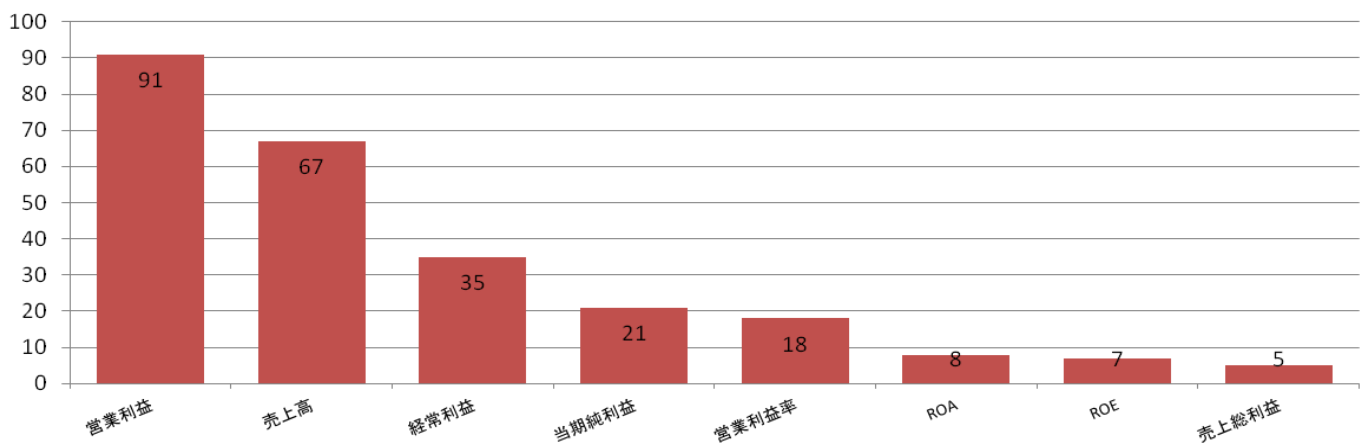




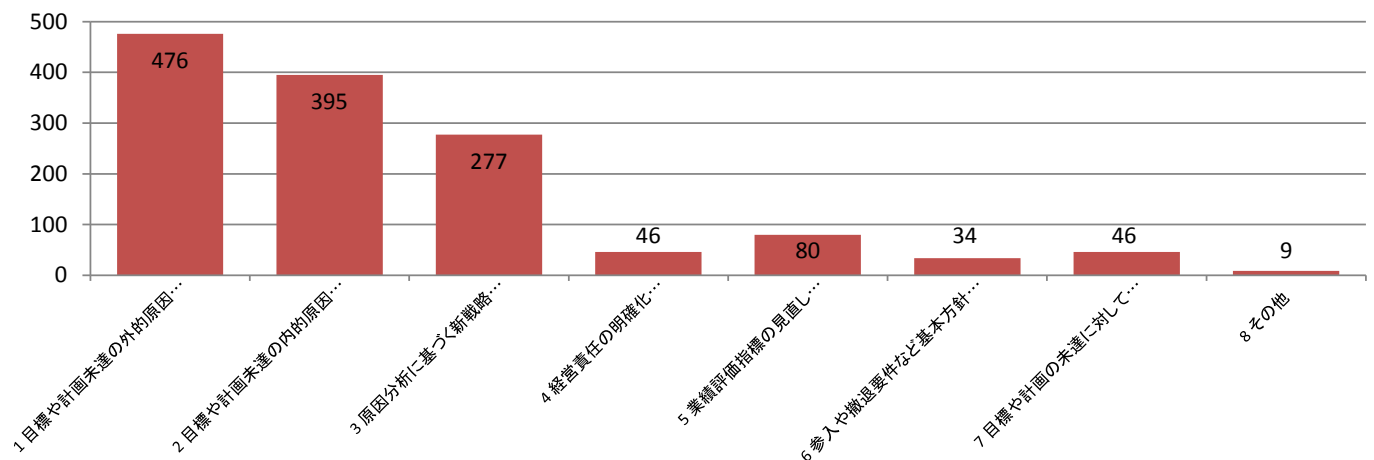
(6) 御社では経営目標・計画を着実に実現するため、経営目標・計画の達成度と結びつけた業績連動報酬制度を導入していますか。



→「1.はい」とご回答いただいた方におたずねします。業績連動報酬制度と結びついているのはどのような指標ですか。特に重要となっている指標を5つ以内でご記入ください。※ 回答数 5 件以上で抽出



(7) 御社で仮に経営目標や経営計画が達成できなかった場合、御社ではどのようにそれを投資家に説明することが多いですか。御社で説明することの多い内容について該当するものすべてに○印をご記入ください。

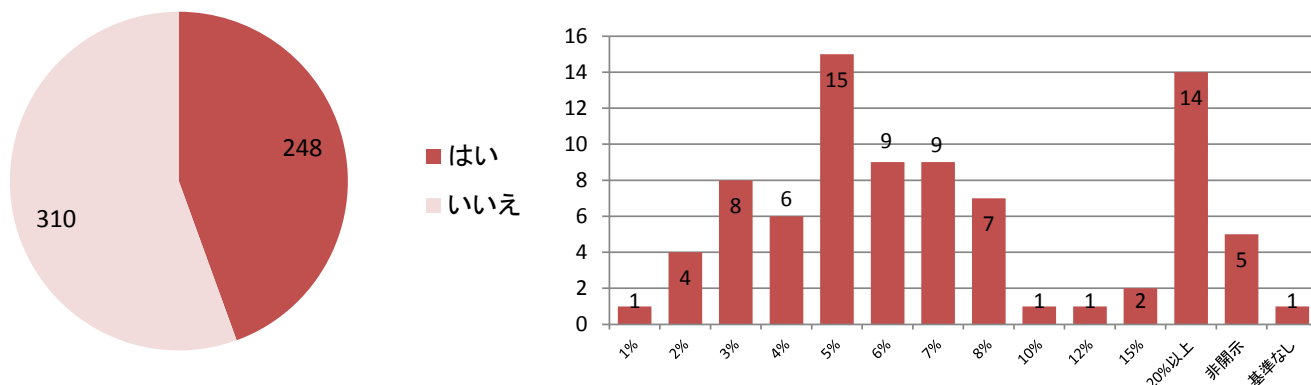


その他（全回答数：9 件）

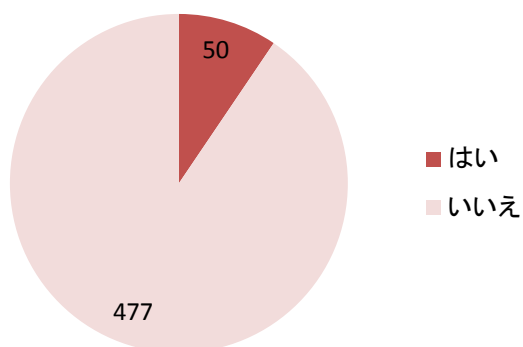
- 達成できなかった要因についてはそれぞれのケースに応じて対応、程度による、等（4 件）
- 計画を開示していない、必要に応じて適宜開示、等（3 件）



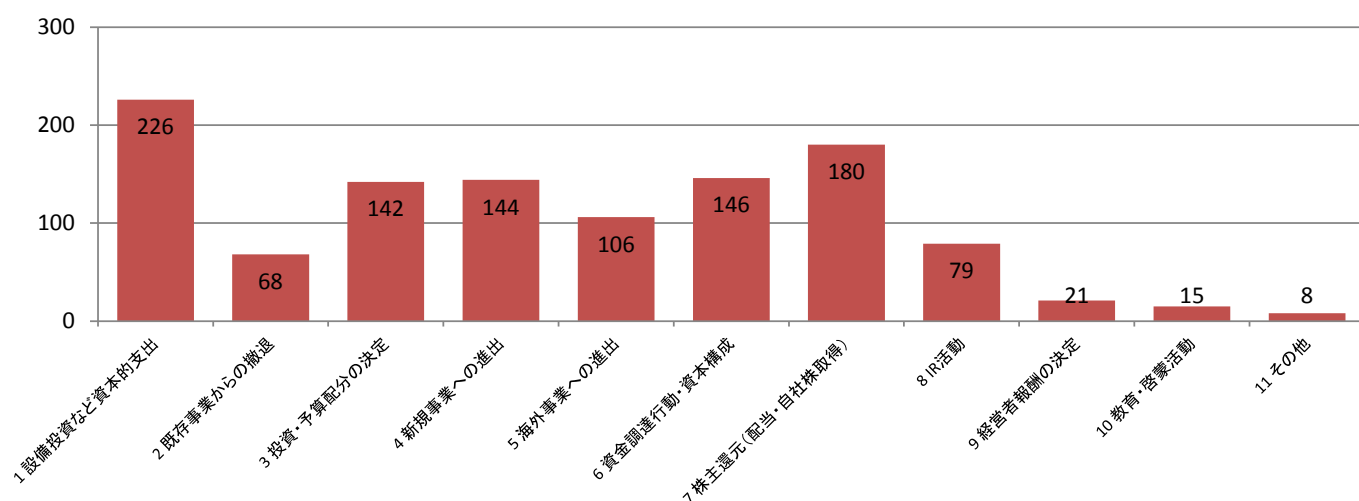
(8) (a) 自社の資本コストを意識されていますか。意識されているとした場合に、どれくらいの水準と認識されているか基準となっている数値がありましたら、ご記入ください。



(b) そうした資本コストを意識している姿勢を投資家に対して積極的に開示していますか。

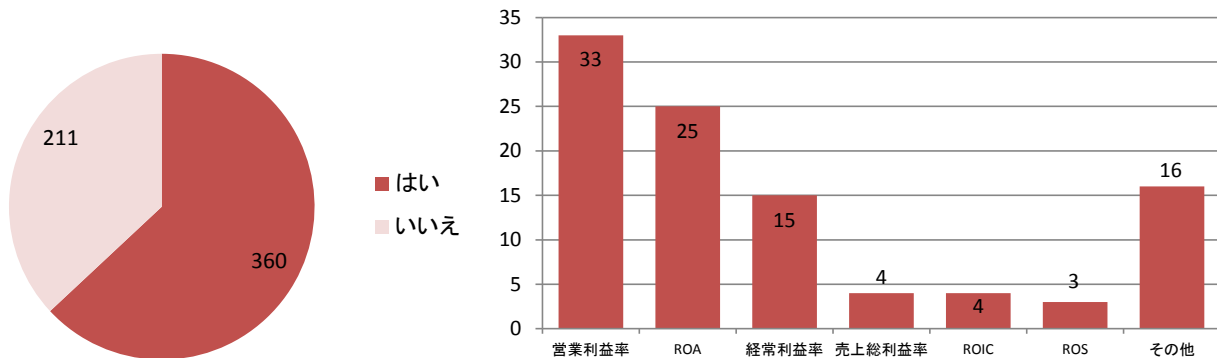


(c) そうした資本コストは、企業内でどれほど強く意識されて、経営活動が実践されていますか。資本コストを意識する活動として該当するものすべてに○印をご記入ください。

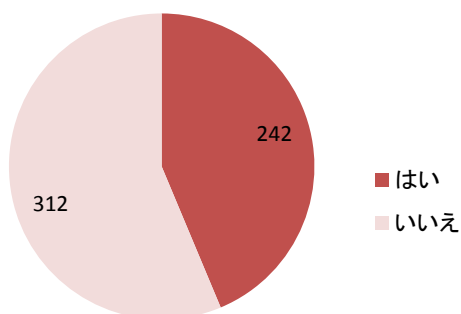




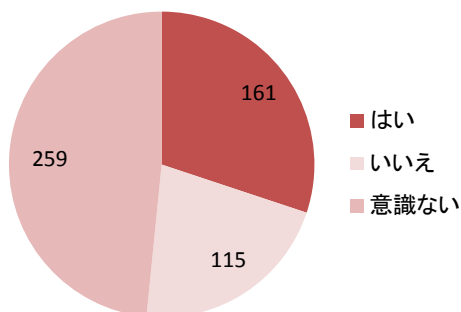
(9) (a) 経営活動の中で ROE を意識されていますか。ご記入ください。また「いいえ」と回答された場合、ROA などその他の利益率指標を意識されている場合には、その利益率指標をご記入ください。(全回答数：100 件)



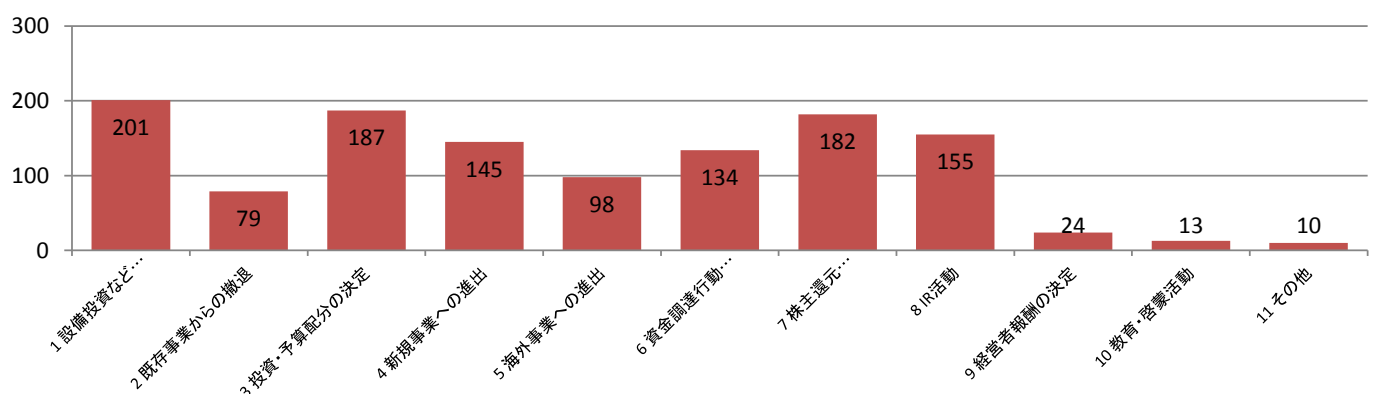
(b) そうした利益率指標を開示活動において積極的に活用していますか。



(c) ROE や ROIC は資本コストを上回っていますか。該当するもの 1 つ に○印をご記入ください。



(d) (a) で掲げた利益率指標は経営活動のどのような側面で意識されていますか。該当するもの すべて に○印をご記入ください。



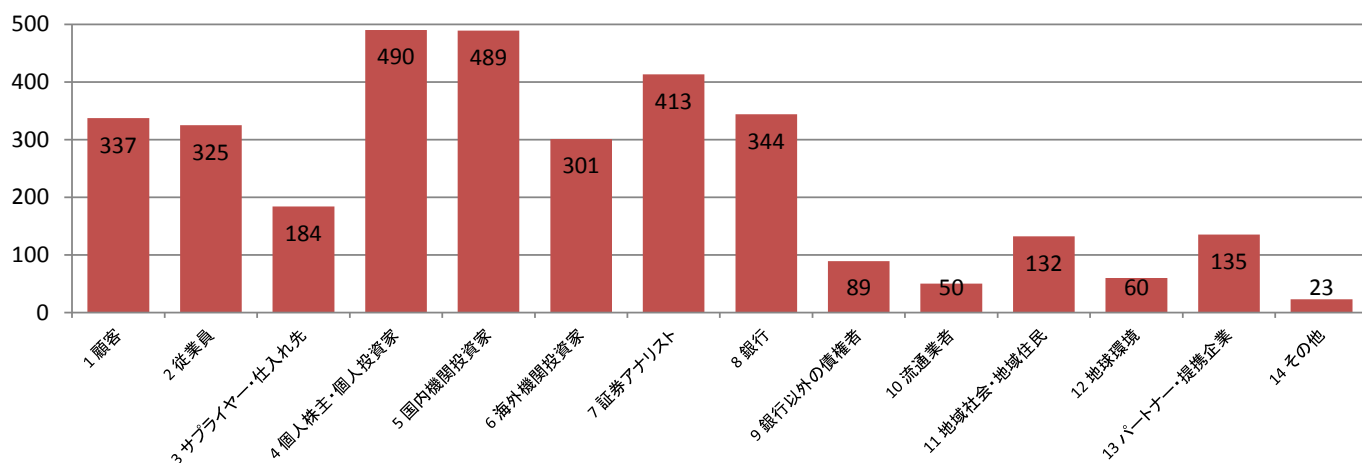
その他 (全回答数：8 件)

- 現状経営行動に直接反映させていない、等 (2 件)
- 中長期的な経営目標、コストダウン等採算性の向上、案件の入手判断、商品戦略等



問4 御社の情報開示・IR活動についてご回答ください。

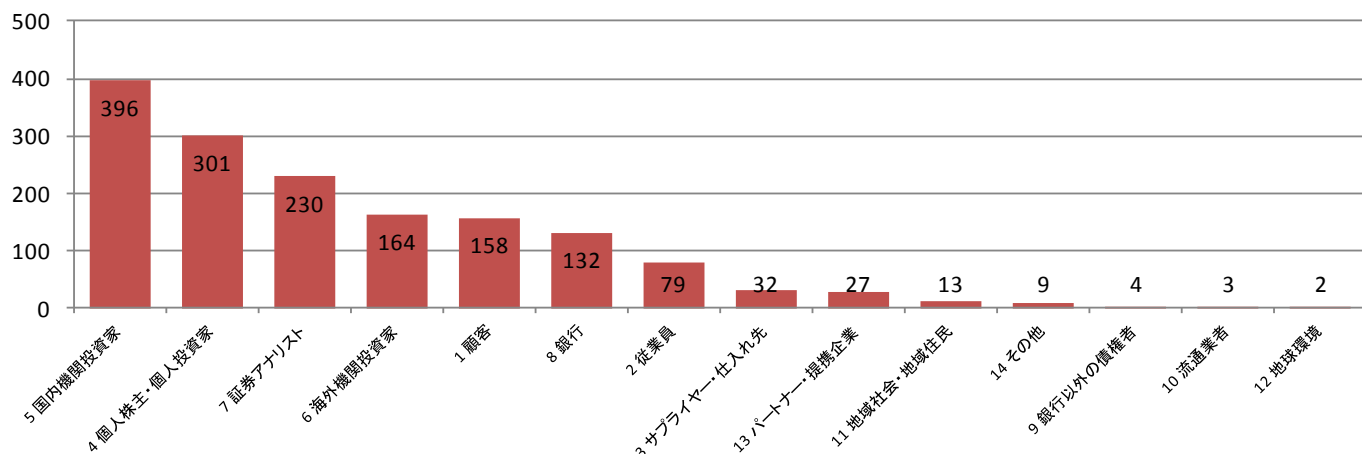
(1) 御社では、どのステークホルダーを重視して、情報開示活動を行っていますか。該当するステークホルダーの番号に○印をご記入ください。



その他（全回答数：17 件）

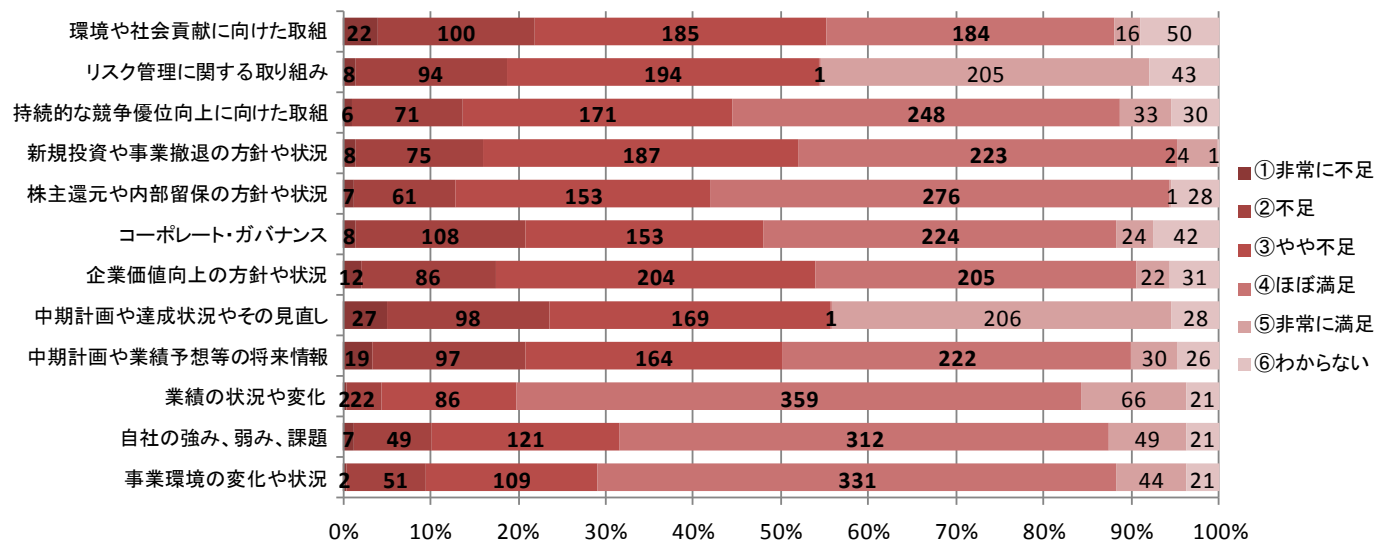
- 大株主、主要株主、長期安定株主、等（6 件）
- 全ての株主（4 件）
- メディア（2 件）

上記で選択されたステークホルダーのうち、とりわけ開示上、重視しているステークホルダーの番号を3つ以内でお答えください。





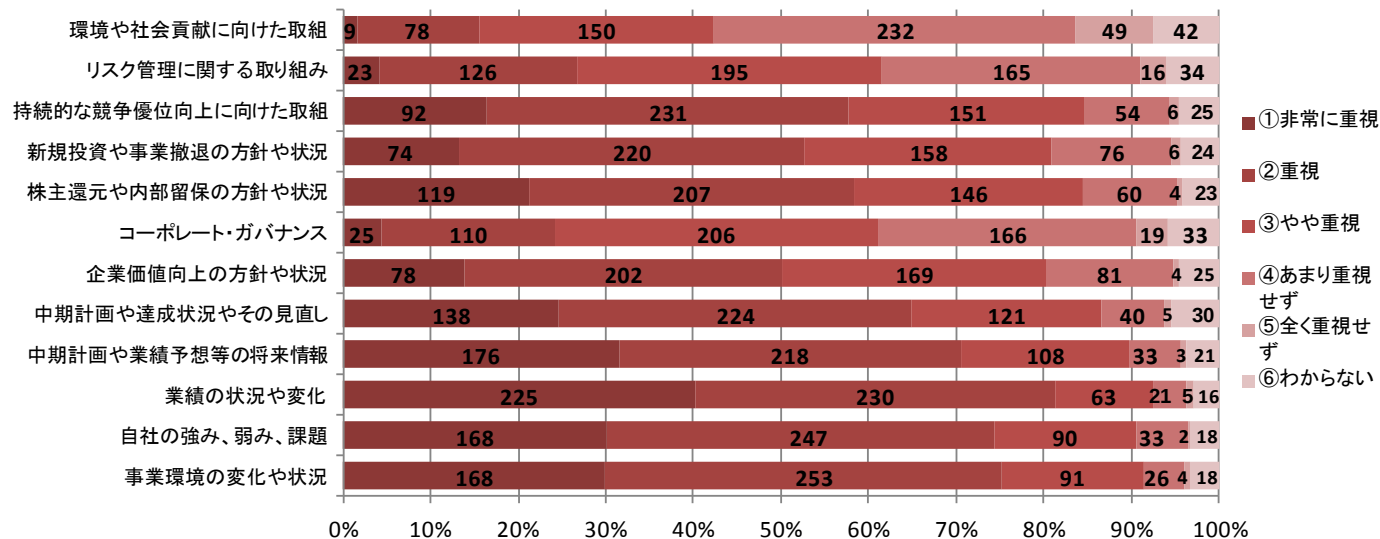
(2) 御社がターゲットとしている重要な投資家との対話において、どのようなテーマについての議論が不足していると感じますか。それぞれについて該当するもの 1 つ に○印をご記入ください。



その他（全回答数：2 件）

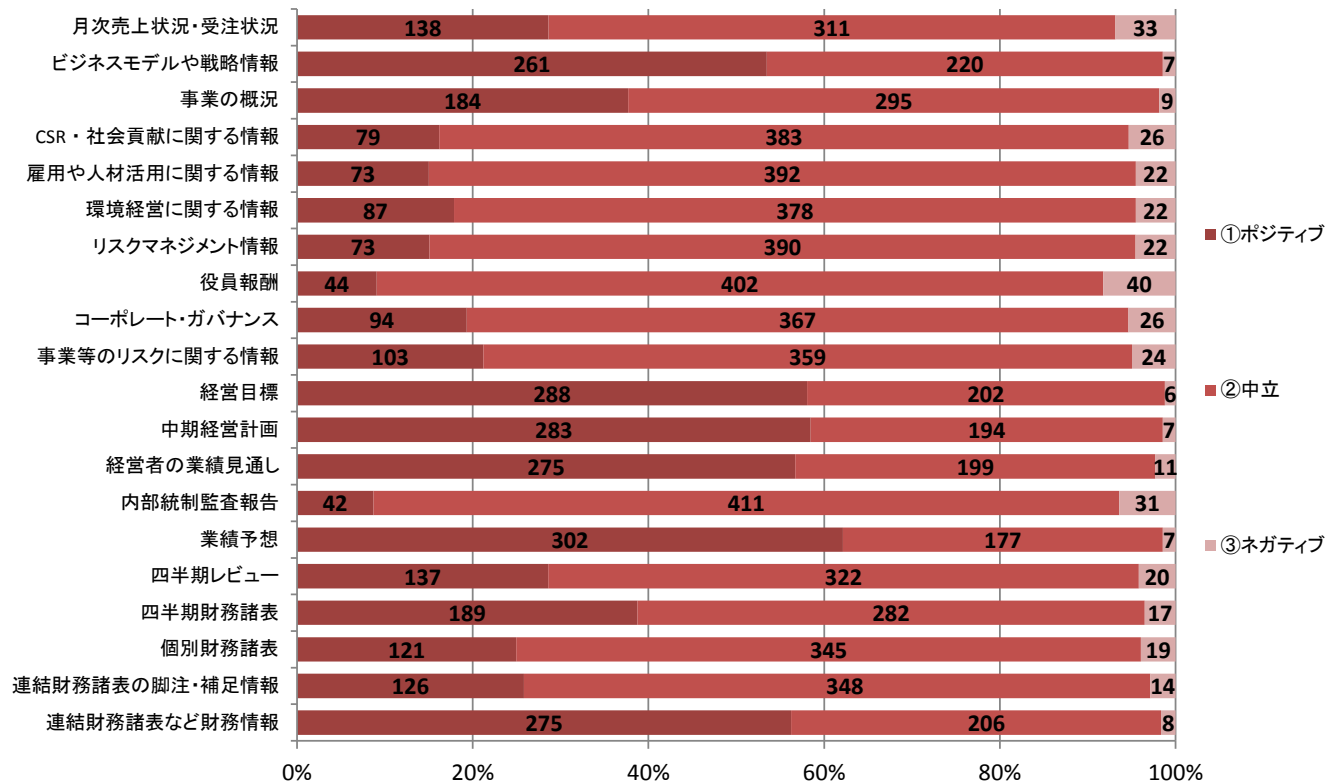
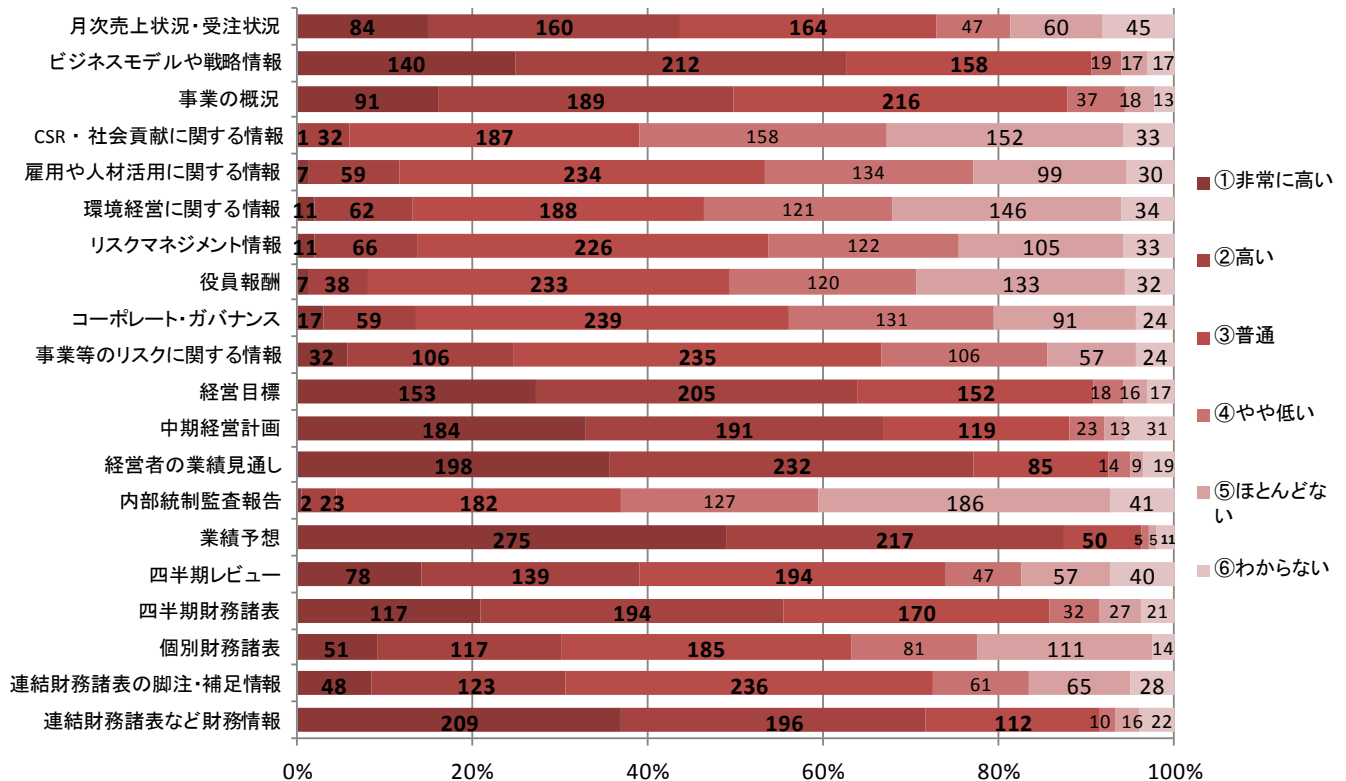
- 経営の資質
- ターゲットとしている投資家がない

(3) 御社と接触頻度の高い投資家との対話において、(2) で掲げた項目の中でどのようなテーマを彼らが重視していると感じますか。それぞれで該当するもの 1 つ に○印をご記入ください。



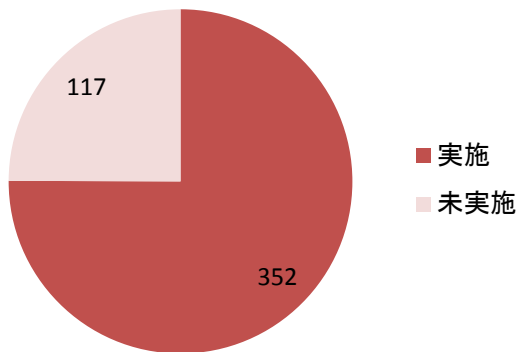


(5) 下記の開示情報について、(a)投資家からの問い合わせや関心がどれほど高いと感じていますか。(b)投資家との安定的な関係を構築し、持続的な企業価値の創造を促進させるためどのような影響を与えていると感じていますか。(a) (b)それぞれ該当するものに1つに○印をご記入ください。

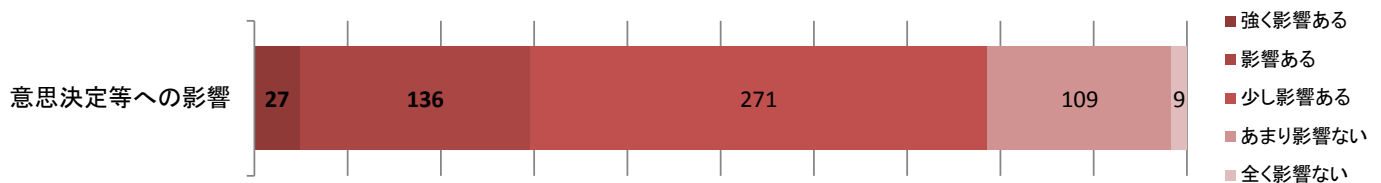




(6) (a) IR 活動の結果など株主・投資家からの声を社内にフィードバックしていますか。



(b) そうした投資家からのフィードバックの内容は実際に企業経営にかかわる意思決定や企業行動に影響を与えていると考えていますか。該当するもの 1 つに ○印をご記入ください



(c) (b) で「1 強く影響を与えている」「2 影響を与えている」と回答した方のみお答えください。
そうしたフィードバックによる影響の内容について、自由回答にてご回答ください。

【1 強く影響を与えている】（全回答数：20 件）

- 投資家が望む情報の発信、投資家ニーズ把握による適切な経営判断、等（8 件）
- 中期経営計画等の策定に影響を与えている（6 件）
- 配当方針の決定（3 件）

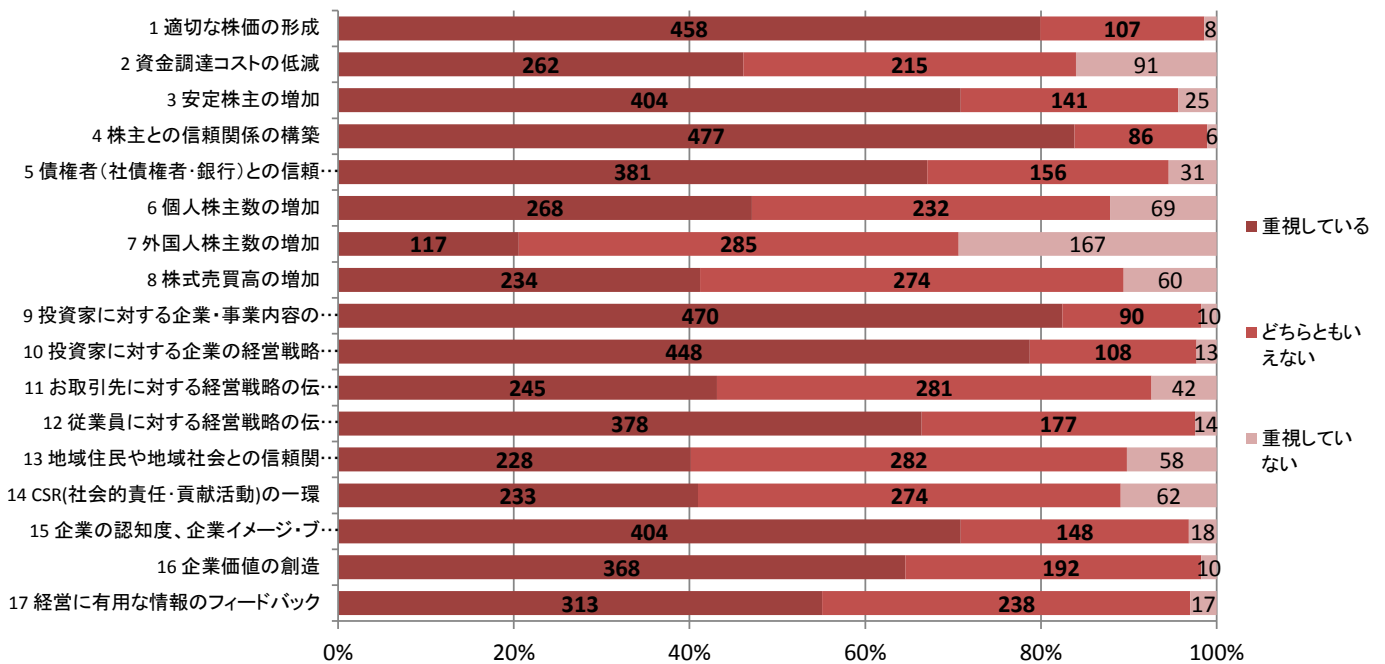
【2 影響を与えている】（90 件）

- 経営計画等への反映、事業方針、事業戦略の見直し、等（20 件）
- 投資家に対する説明責任が様々な場で意識されている、会社と投資家の間の具体的なやりとりが理解でき、各社員レベルでの行動を考える上で参考となる、等（11 件）
- 投資家からの配当水準や配当方針の考え方、配当額の向上、等（9 件）
- IR 活動の改善、IR 資料の作成、等（8 件）
- 業績予想策定時の業界動向情報収集、予算策定時の参考、等（4 件）

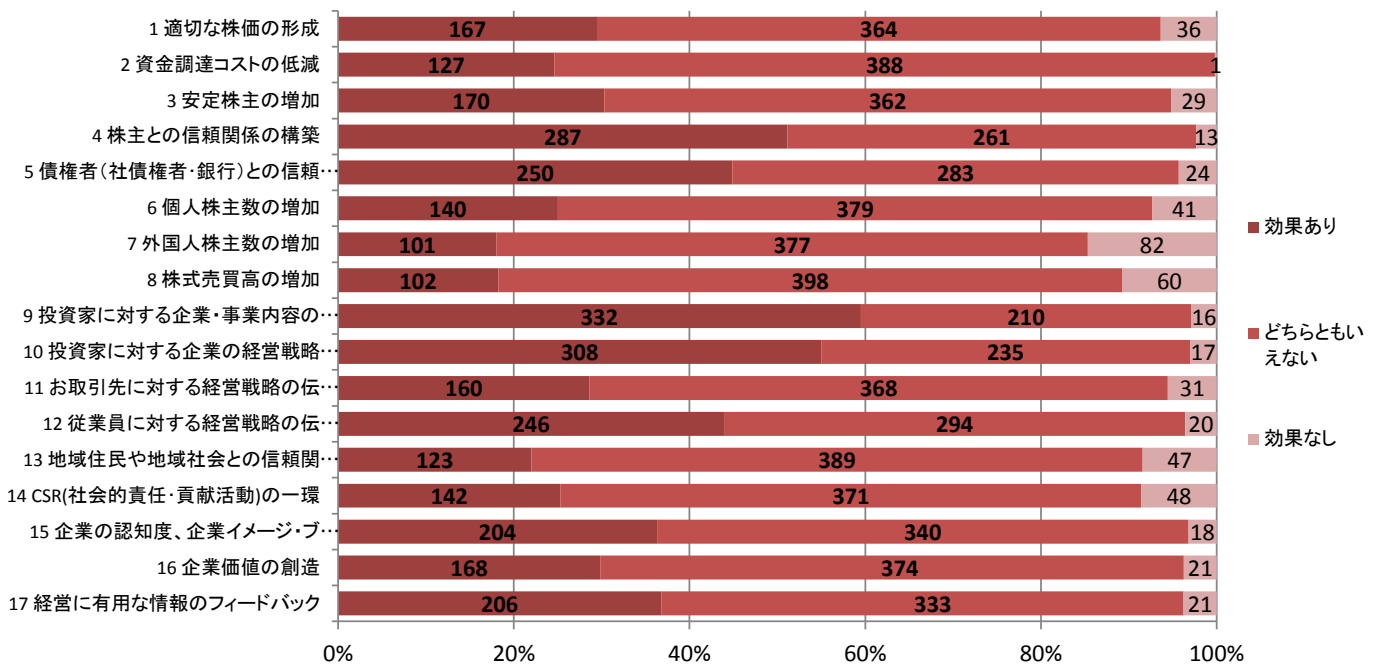


(7) 情報開示活動の目標や狙いについてお聞きます。項目ごとに1つに○印をご記入ください。

(a) 御社では、各項目をどの程度重視していますか。

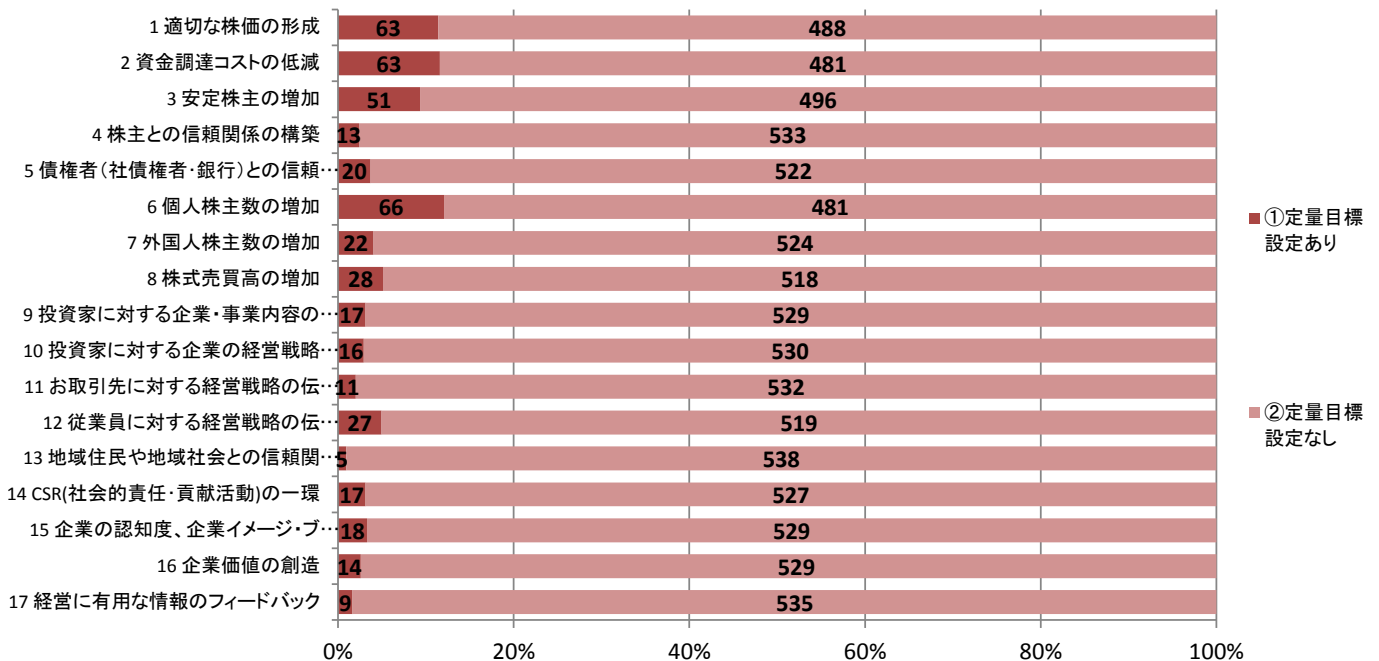


(b) 各項目について、御社の情報開示活動の効果をお答えください。

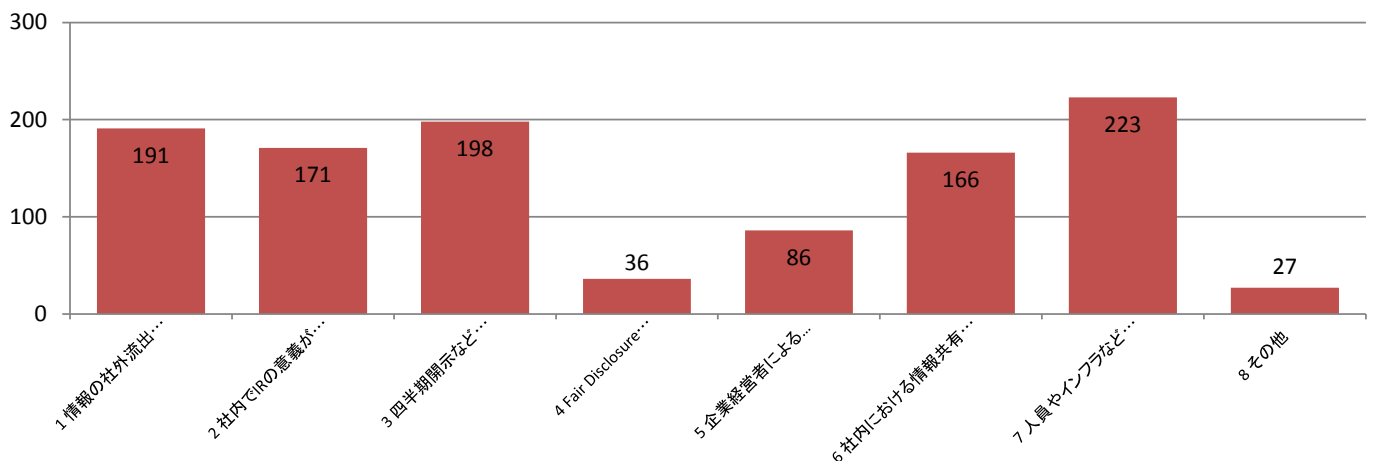




(c) 御社で定量的な目標を設定している項目はありますか。



(8) 御社で円滑なIR活動を実践するにあたって、障害となっている要素として該当するものすべてに○印をご記入ください。



その他（全回答数：24 件）

- 英文資料作成の手間・コスト、IR 関連予算の自由裁量が少ない、等（6 件）
- アナリストのレベルの低下（勉強不足）、資本市場の短期志向、等（3 件）
- 事業低迷、業績（2 件）
- 金融庁の規制強化
- M&A による子会社増での連絡業務の複雑化



(9) 御社では、IR 活動に対する経営者や社員等の理解を高めるために、どのような工夫をしていますか。工夫内容について、自由回答にてご回答ください。(全回答数：221 件)

【ホームページ、社内インフラへの情報掲載、社内報の配布等】(47 件)

- IR 活動の実施について、定例会議で報告するとともに、当社 HP の IR ページに掲載しております
- HP、社内イントラの充実
- 社内報を活用してタイムリーに業績に関連する動きを伝えている
- 開示内容の社内周知に努めています。資料のイントラネットでの提供、集会時の伝達等です。また日頃から、業界ニュースや情報等を配信し、それに対する意見を求めたり社内コミュニケーションを図っています

【経営陣や社員の決算説明会、会社説明会への参加】(44 件)

- 経営者が決算説明会に参加しています。経営者が説明し、質疑応答を行っています
- 若手社員を個人投資家説明会に同行させたり、IR 活動についての社内勉強会を実施しています
- 経営層に限らず、機会があれば投資家向け説明会のスピーカーを部長クラス社員にもやってもらっている
- 決算説明会は、取締役（社内）全員が出席しています

【社外からの評価・意見のフィードバック】(37 件)

- 投資家からの質問や意見を CEO、COO、CRO にフィードバック
- 資本市場の当社に対する現状の評価や IR 活動における課題について経営層が出席する会議で報告を行い、改善ポイントについての理解を促進している
- 経営者に対しては、投資家の意見等から経営に資する情報を月次でフィードバックしています
- 定期的に IR 取材で得られた外部からの見方・意見をフィードバックすることで顧客や取引先、社員としての見方とは違った視点で各人の役割を見直してもらっている

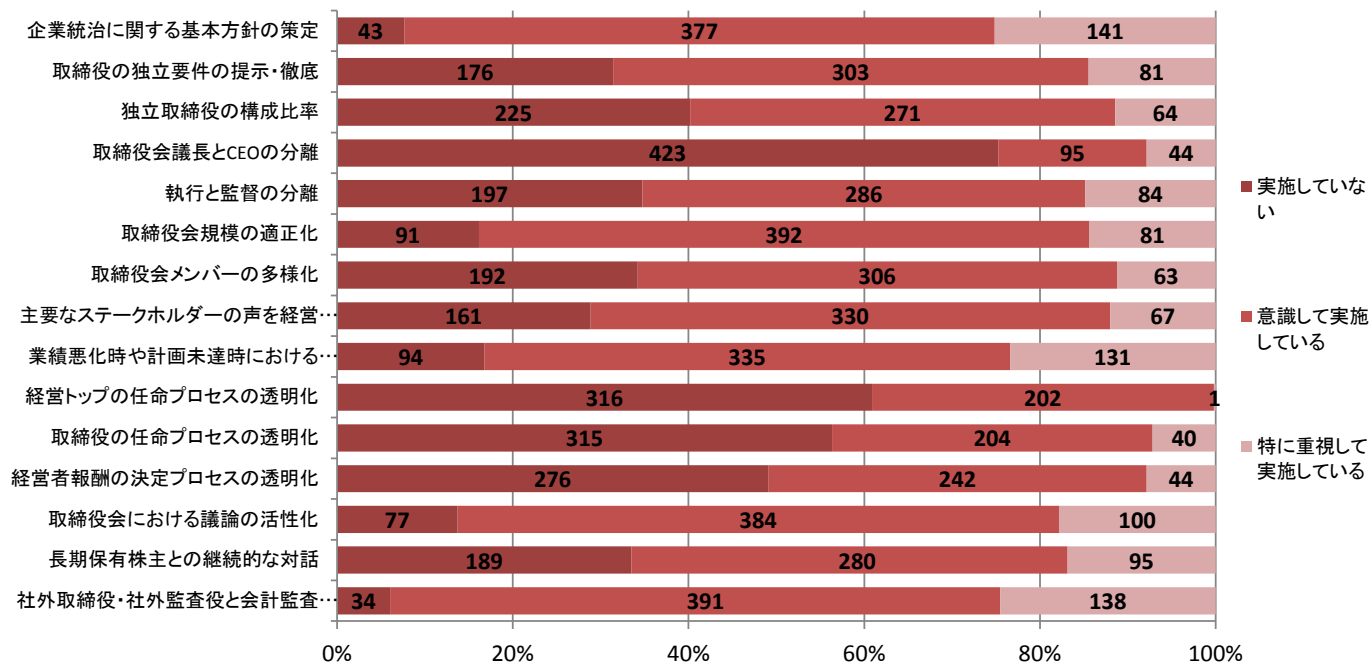
【社内での決算説明会、ミーティングの開催】(17 件)

- 決算結果の社内報告会の開催
- アナリストを招いて社内で講演会を開催し、外部からどう見られているか知ってもらう
- 社内 IR（関連部署との定期的な情報交換会）の実施
- 新入社員・中途社員向け IR 活動セミナーを実施しています。希望者向けの社内スクールでの IR 勉強会を実施しています

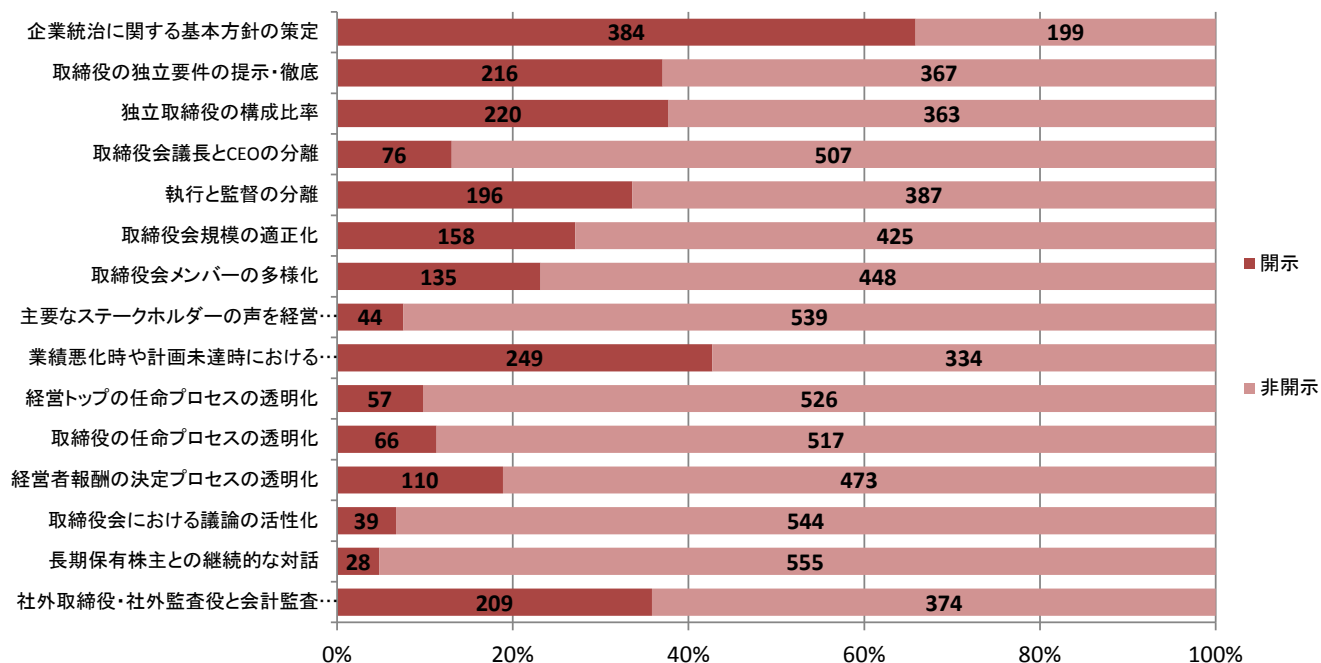


問5 御社のコーポレート・ガバナンスに関する取り組みやその開示状況についてご回答ください。

(1) (a) 御社では、株主や投資家からの信頼感を向上させ、企業価値を持続的に向上させるため、どのような取り組みを実施されていますか。

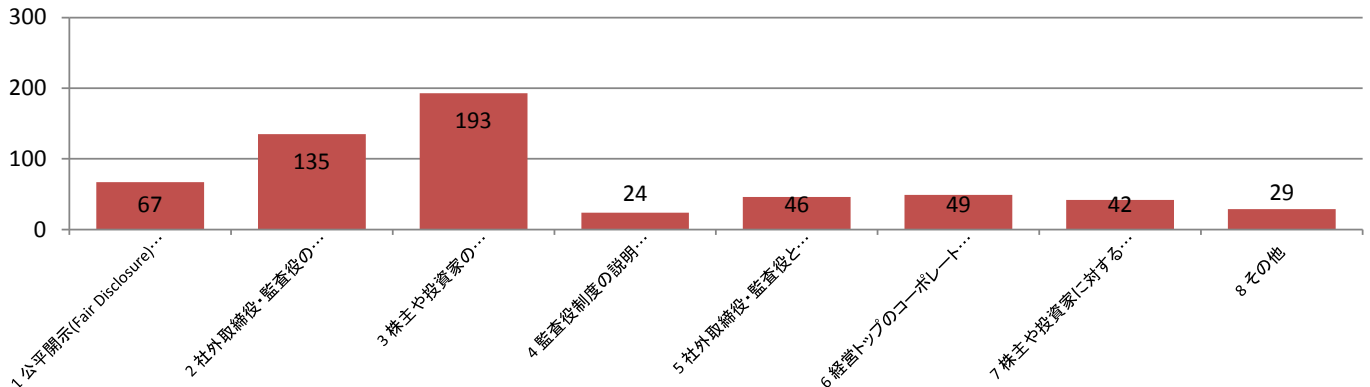


(b) またそうした取り組みを株主や投資家に向けて開示していますか。それぞれ該当するもの 1 つ に○印をご記入ください。





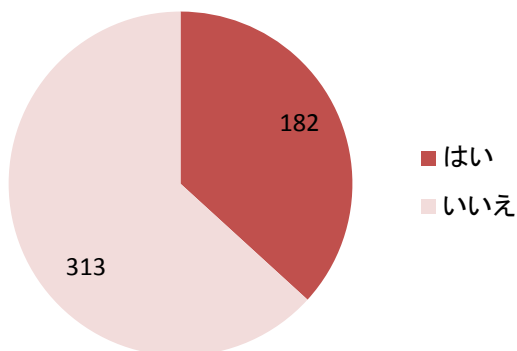
(2) 株主や投資家からの信頼感を向上させるコーポレート・ガバナンスの取り組みを実践するため、御社で特に問題となっていると感じている事象は何ですか。該当するものすべてに○印をご記入ください。



その他（全回答数：23 件）

- 形式要件を重視しすぎる傾向、日本の実体特性を理解せず、単に欧米に合わせようとする論調、等（4 件）
- 経営幹部のガバナンス意識、経営層の理解不足（2 件）
- 費用対効果、強いて言えば、この実行の為のコスト（2 件）

(3) 持続的な企業価値の創造にあたって、御社の株主や投資家に対して期待している役割などがありますか。



→ 「1 はい」と回答した場合のみ、その内容を自由回答にてご回答ください。（全回答数：162 件）

- 株主として中長期的観点からの投資支援、長期にわたる安定株主となってほしい、等（84 件）
- 建設的なディスカッションの継続、面談を通じてのアドバイス、幅広い知見からの助言や議論、等（41 件）
- 事業運営、会社運営の外部監督機能、より市場の声を反映した経営に向かっていくための監視者の役割、等（5 件）
- 企業価値向上は、短期で達成できるものではない事を理解して欲しい、3～5 年の中期スパンでの事業判断をして頂きたい、等（4 件）
- 当社のファンになって頂くこと、「当社会員＝株主」が理想、等（3 件）
- 資本コストの低減
- 会社に対する理解促進と適度な売買による適正株価形成
- 業界の発展に向けた分析を当社に結びつけることで、持続的な企業価値を創造していく為のポイントを得る

以上